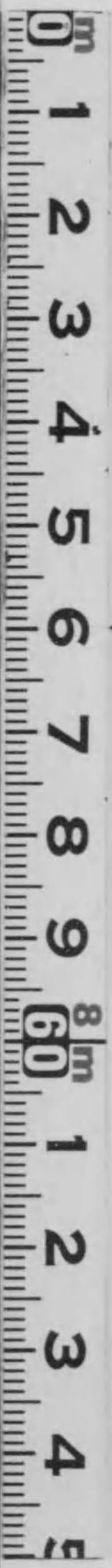


283
20



始



SK-3



山口高等學校一覽

自大正十五年
至大正十六年

283-20

山口高等學校一覽

自大正十五年
至大正十七年

校寄贈本



目次

- 學年曆
- 沿革略
- 關係法令
- 一 文部省直轄諸學校官制(抄)
- 二 文部省直轄諸學校職員定員令(抄)
- 三 文部省直轄諸學校雇外國人ニ關スル規定
- 四 學校及圖書館特別會計法(抄)
- 五 高等學校令(抄)

目次

大正
15. 9. 10
寄贈

一頁 一三五 一三 一四 一五 一六

六	高等學校規程(抄)	一八
七	山口高等學校設置、授業開始	三七
八	官立高等學校高等科入學者選拔試驗規程	三七
九	高等學校高等科入學資格試驗規程	三九
十	專門學校入學者檢定規程	四一
十一	文部省直轄學校外國人特別入學規程	四六
十二	臺灣人朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用	四七
十三	文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規定	四八
十四	高等學校高等科學力檢定規程	四八
十五	教員檢定ニ關スル規程(抄)	五〇
十六	教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目(抄)	五一

○學則

第一章	總則	五三
第二章	學年、學期及休業	五三
第三章	學科、課程及教授時數	五四
第四章	課程ノ修了及卒業	五九
第五章	入學、退學、休學、除名及懲戒	六一
第六章	入學料及授業料	六六
第七章	學寮	六九

○生徒心得

○細則

一	學則施行細則	七三
第一章	學科及授業	七四
第二章	在學及通學	七五

第三章	成績考查試驗	七六
第四章	學級總代	八二
第五章	服裝	八三
第六章	學寮	八五
二	生徒心得細則	八七
三	校務分掌規程	八九
第一章	教育事務	九〇
第二章	分課事務	九三
四	外國人特別入學規程細則	九九
五	會議規程	一〇一
六	圖書ニ關スル規程	一〇三
七	物品會計規程細則	一〇五
八	職員服務規程	一一二

第一章	職員ノ服務	一一二
第二章	當直員ノ服務	一一四
九	文書處理規程	一二七
十	文書編纂保存規程	一二四
○職員		一三七
○前職員		一四七
○生徒		一五一

一	生徒氏名	一五一
二	生徒學年別人員表	一六七
三	生徒本籍別人員表	一六七
四	入學者學歷別人員表	一七〇
五	生徒年齡表	一七一
六	在學中死亡者表	一七一

○卒業者

- 一 卒業者氏名
- 二 卒業者本籍別人員表
- 三 卒業者進入大學別人員表

○土地建物

附 錄

- 山口高等學校校友會規則
- 校友會役員
- 舊山口高等學校卒業者名簿

一七三

一七三

一八九

一九二

一九六

一九七

二〇三

一

○學年曆

大正十五年

四月	四月	四月	四月	七月	七月	七月	七月	七月	七月	七月	八月
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
十二	十九	二十九	二十九	五	六	七	十	十一	十一	十一	三十一
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
(木)	(月)	(月)	(火)	(月)	(火)	(水)	(土)	(月)	(火)	(火)	(火)
第一學期始	第二、第三學年第一學期授業始	第一學年入學宣誓式	第一學年第一學期授業始	第一學期授業終	自習	定期試驗始	定期試驗終	夏季休業始	第一學期終		

九月一日	(水)	第二學期始
九月五日	(日)	夏季休業終
九月六日	(月)	第二學期授業始
九月二十四日	(金)	秋季皇靈祭
十月十六日	(土)	創立記念日
十月十七日	(日)	神嘗祭
十月三十一日	(日)	天長節祝日拜賀式
十一月二十三日	(火)	新嘗祭
十二月十八日	(土)	第二學期授業終
十二月二十日	(月)	自習
十二月二十一日	(火)	定期試驗始
十二月二十四日	(金)	定期試驗終
十二月二十五日	(土)	冬期休業始

大正十六年

十二月三十一日	(金)	第二學期終
一月一日	(土)	第三學期始 新年拜賀式
一月七日	(金)	冬季休業終
一月八日	(土)	第三學期授業始
二月十一日	(金)	紀元節拜賀式
三月三日	(木)	第三學期授業終
三月四日	(金)	自習
三月五日	(土)	定期試驗始
三月十日	(木)	定期試驗終
三月十一日	(金)	春季休業始
三月三十一日	(木)	第三學期終

○沿革略

山口縣ニ於ケル高等教育ノ沿革ヲ釋スレハ遠ク明治ノ前半ニアリ明治初年山口藩主毛利氏舊藩校ヲ改メテ山口中學トナス十七年二月新ニ山口中學内ニ高等科ヲ併置ス是レ蓋シ縣内ニ於ケル高等教育ノ濫觴ナリ後チ政府高等中學校ノ制ヲ布カルルニ當リ防長教育會ヨリ請フ所アリ十九年十一月高等科ヲ改メテ山口高等中學校トナシ文部省ノ直轄トナル而シテ之レカ經費ノ支出ハ防長教育會之ニ當ル明治二十七年高等學校令ノ公布セララルヤ更ニ山口高等中學校ヲ改メテ山口高等學校トナシ三十二年ニ至リ國庫ノ補助ヲ受ク明治三十八年二月不幸ニシテ變革ノ厄ニ遭フ其ノ山口高等中學校ト稱セラレシヨリ實ニ十九年卒業生ヲ出スコト八百七十三人(參考ノ爲卷末ニ名簿ヲ附ス)皆社會各方面ニ活動シテ名ヲ成スモノ少カラス而モ其ノ一日變革

セラルルヤ有爲ノ青年ニシテ大學進入ノ志ヲ抱クモノ悉ク其ノ便ヲ失フ先輩有志深ク之ヲ憾ミトシ屢々政府ニ情願シテ其ノ復興ヲ圖ル大正七年偶々政府高等教育機關擴張ノ議アリ此ニ於テ山口縣ハ創設費金四拾九萬六千餘圓及敷地壹萬九千餘坪ヲ寄附シ以テ當地ニ高等學校ヲ設置セラレントヲ請願ス政府之ヲ納レ茲ニ本校ノ設立ヲ見ルニ至レリ其ノ設置以來ノ沿革左ノ如シ

大正八年四月勅令第百十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ニ改正ヲ施シ本校ヲ設置セラレ勅令第百十三號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ校長一人教授十六人書記三人ト定メラル○同月公立中學校校長兼公立中學校教諭新保寅次山口高等學校教授ニ任シ校長事務取扱ヲ命セララル○同月文部省令第十三號ヲ以テ本校ノ位置ヲ山口縣吉敷郡山口町ニ定メラル○同月事務所ヲ文部省内ニ置ク○六月事務所ヲ山口縣立山口中學校内本校假校舍内ニ移ス○七月生徒百六十人ノ入學ヲ許可ス○

九月授業ヲ開始ス○同月山口縣吉敷郡山口町下堅小路外參箇所ニ於ケル民家ヲ本校學寮ニ代用ス○四月學則生徒心得學則施行細則生徒心得細則校務分掌規程教官會議規程ヲ制定ス○十月四日教育ニ關スル勅語謄本ヲ拜戴ス

大正九年三月物品會計規程細則ヲ制定ス○六月勅令第百八十號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ教授二十人助教一人書記四人ニ改メラル○同月本校教授新保寅次山口高等學校校長兼山口高等學校教授ニ任セララル○同月山口縣吉敷郡山口町太刀賣ノ代用學寮ヲ廢ス○七月生徒百五十八人ノ入學ヲ許可ス○八月山口縣吉敷郡山口町大字上宇野令ノ新築校舍ニ移轉ス○同月生徒百七十七人ヲ本校構内ノ新築學寮ニ收容ス○九月學則中父兄若ハ父兄ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキ者交代ノトキハ更ニ在學誓書ヲ差出スヘキ件及授業料ニ關スル件ヲ改正シ又學則施行細則中寮費並食費納附方ニ關スル件ヲ改正ス○十月五日 天皇

陛下 皇后陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス○同月十五日載仁親王殿下同妃智惠子殿下本校ニ臺臨アラセラレ校長新保寅次本校沿革及現況ノ概略ヲ言上シ學校要覽ヲ奉呈ス職員一同ニ謁ヲ賜ヒ校庭ニ「ヒマラヤシ」ダ」ヲ御手植遊ハサル

大正十年二月職員服務規程、文書處理規程、文書編纂保存規程、圖書ニ關スル規程ヲ制定ス○三月勅令第五十號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ教授二十五人助教授四人書記五人ニ改メラル○四月學則中學年、學期、休業及授業料ニ關スル件ヲ改正シ又校務分掌規程中教官ノ一人ヲ教頭ニ充テ全般ノ事務ニ參與セシムル件ヲ追加ス○同月生徒百四十四人ノ入學ヲ許可シ又臺灣人二人朝鮮人二人ノ特別入學ヲ許可ス○七月山口縣吉敷郡山口町下墜小路及同町白石ニ設ケタル代用學寮ヲ廢ス○八月本校敷地ノ引渡ヲ受ク○十二月學則中生徒ノ除名、再入學ニ關スル件ヲ改正ス

大正十一年三月生徒百二十九人ヲ卒業セシム之ヲ以テ生徒卒業ノ始メトス○同月評議員會規程ヲ制定ス○同月生徒百四十九人ノ入學ヲ許可シ又朝鮮人四人ノ特別入學ヲ許可ス○同月山口縣吉敷郡山口町荒高ニ設ケタル代用學寮ヲ廢ス○同月本校建築工事ニ關スル既定事業ヲ完成ス○四月學則中休業日(創立記念日)ニ關スル件、授業料及學寮費ニ關スル件、進級、卒業ニ關スル件ヲ改正シ學則施行細則中寮費ノ金額ヲ改正ス○五月十六日本校落成式ヲ舉行シ文部大臣代理トシテ松浦專門學務局長臨場セララル○十二月本校建物竝工作物ノ引渡ヲ受ク大正十二年三月學則中入學、退學、休學ニ關スル件ヲ改正ス○同月生徒百二十六人ヲ卒業セシム○同月生徒百三十四人ノ入學ヲ許可シ又臺灣人一人朝鮮人六人ノ特別入學ヲ許可ス○六月外國人特別入學規程細則ヲ制定ス

大正十三年三月生徒百三十四人ヲ卒業セシム○同月生徒百四十八人

ノ入學ヲ許可シ又臺灣人一人朝鮮人四人ノ特別入學ヲ許可ス○四月
學則中授業料及學寮費ニ關スル件ヲ改正シ學則施行細則中學寮費納
付ニ關スル件ヲ削除ス

大正十四年三月生徒百二十人ヲ卒業セシム○同月生徒百五十五人ノ
入學ヲ許可シ又朝鮮人七人ノ特別入學ヲ許可ス○四月勅令第八十一
號ヲ以テ本校助教ノ定員ヲ三人ニ改メラル○同月學則中教授時數
ノ配當ニ關スル件轉科轉類ニ關スル件授業料ニ關スル件ヲ改正シ學
則施行細則中ノ學業成績評點科目數中改正ス又評議員會規程ト教官
會議規程トヲ合併シテ新ニ會議規程ヲ制定ス○同月勅令第三百十五
號ヲ以テ陸軍現役將校學校配屬令ヲ設定セラレ步兵第四十二聯隊附
陸軍歩兵少佐野村定五郎ニ本校服務ヲ命セラル○六月勅令第二百十
六號ヲ以テ本校書記ノ定員ヲ六人ニ改メラル○七月新營ニ係ル備外
國人教師官舎ノ引渡ヲ受ク

大正十五年二月十五日 宣仁親王殿下本校ニ臺臨アラセラル○三月
生徒百四十四人ヲ卒業セシム○四月生徒百五十一人ノ入學ヲ許可シ
又臺灣人一人朝鮮人八人ノ特別入學ヲ許可ス○同月學則中再入學ニ
關スル規定ヲ改正ス○五月學則中創立記念日ヲ十月十六日ニ改定ス
○同月二十九日 皇太子殿下本校ニ行啓アラセラレ校長新保寅次教
授戸澤正保ニ單獨拜謁ヲ賜フ校長言上書ヲ奉呈ス教官一同ニモ列立
拜謁ヲ賜ヒ講堂ニ於テ生徒ヲ親閲遊ハサレ圖書閱覽室ニ陳列ノ考古
學資料ヲ臺覽アラセラル

明治二十六年八月
勅令第八十六號

○關係法令

一 文部省直轄諸學校官制(抄)

明治二十六年八月
勅令第八十六號

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

山口高等學校

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校長
- 教授
- 生徒監
- 助教
- 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ

文部省直轄諸學校官制(抄)

所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ專ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サ

ル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ教授ヲ擔任セシムルコトヲ得

二 文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

明治三十五年三月 勅令第九十九號

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

	校長	教授	助教授	助教授	助教授	訓導	保	姆助	手書記
山口高等學校	一人	三十五人		三人					六人

三 文部省直轄諸學校雇外國人ニ關スル規定

明治二十六年九月 勅令第九十六號

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

四 學校及圖書館特別會計法(抄)

明治四十年 法律第二十三號

第一條 文部省直轄諸學校及帝國圖書館ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テシメ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、資金ヨリ生スル收入、授業料寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ歳出ニ充テシム

五 高等學校令(抄)

大正七年十二月
勅令第三百八十九號

- 第一條 高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ
特ニ國民道德ノ充實ニカムヘキモノトス
- 第七條 高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス
高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得
- 第八條 高等學校高等科ヲ分チテ文科及理科トス
- 第九條 高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコト
ヲ得其ノ修業年限ハ一年トス
專攻科ヲ卒リタルモノハ得業士ト稱スルコトヲ得
專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第十條 高等學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ
得但シ第七條第二項ノ高等學校ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

高等學校豫科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

- 第十二條 高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常
科ヲ終了シタル者中學校第四學年ヲ終了シタル者又ハ文部大臣ノ
定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス
- 第十三條 高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以内尋常科三百
二十人以内トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ
六百人以上トス
- 第十四條 高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制ス
ヘシ
- 一學級ノ生徒定數ハ四十人以内トス
- 第十五條 高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種
類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得
- 第十六條 高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免

許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
第十七條 高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教科書並生徒ノ入學退學及懲戒授業料入學料等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治二十七年勅令第七十五號高等學校令及高等中學校令ハ之ヲ廢止ス

六 高等學校規程(抄)

大正八年三月
文部省令第八號

第一章 學科課程及教科書

第二節 高等科

第四條 高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文第一外國語、第二外國

語、歷史、地理、哲學概説、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス
高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、礦物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操トス
外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ努メシムヘシ

第六條 國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智徳ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニアリテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ
理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文並普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條 外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依リテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智徳ノ増進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條 歴史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發展ヲ理會セシメ特ニ我國發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歴史ハ日本歴史、東洋歴史及西洋歴史ヲ授クヘシ

第九條 地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現状ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治、經濟等ニ關スル地理上ノ智識ヲ授クヘシ

第十條 哲學概説ハ思想界ニ關スル知識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概説ハ東洋及西洋ノ哲學宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條 心理及論理ハ心意ニ關スル知識ヲ得シメ思考ヲ鍛鍊セシムルヲ以テ要旨トス

心理及論理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概要ヲ授クヘシ

第十二條 數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數

立體幾何、三角法、初等解析幾何、初等微分積分及初等力學ヲ授クヘシ
第十三條 自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ
法則ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ
第十四條 物理化學ハ自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理
會セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス
物理ハ力學物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘ
シ

化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條 植物及動物、礦物及地質ハ天然物ニ關スル知識ヲ與ヘ之カ
應用ヲ示シ兼テ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス
植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類進化ニ關スル知識ヲ授ケ又主要
ナル實驗ヲ課スヘシ

礦物及地質ハ礦物ノ産狀、性質、用途、地球ノ構成及其ノ變遷ニ關スル
知識ヲ授ケ又便宜主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十六條 法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ
必要ナル知識ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經
濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條 圖畫ハ形體ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練
リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條 體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト
規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道及柔道ヲ加フルコトヲ得

第十九條 文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ

依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		六	五	五
第一外國語		九	八	八
第二外國語		(四)	(四)	(四)
歷史		三	五	四
地理		二		
哲學概説				三
心理及論理			二	二
法制及經濟			二	二
數學		三		
自然科學		二	三	
體操		三	三	三

計

(三九)

(三九)

(三九)

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一一	一〇	一〇
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		(三四)	(三四)	(三〇)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

第二十條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	四	二	一
第一外國語	八	六	六
第二外國語	(四)	(四)	(四)
數學	四	四	(四)
物理學		三	(二)四
化學		三	(二)三
植物及動物	二	二	講義二 實驗三 二五
礦物及地質	二	二	講義二 實驗二 二四
心理		二	
法制及經濟	二		
圖書	二	二	(二)
體操	三	三	三
計	(三)八	(三)八	(三)八

第三學年ノ數學〔二〕及圖書〔二〕ト第三學年ノ植物及動物〔講義二實
驗二〕トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス
第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語ト
ス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シ
ム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每
週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一〇	九	九
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	(三)三	(三)二	(三)四

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科
目ニ配當スルコトヲ得

第三節 專攻科

第二十一條 專攻科ノ學科目ハ左ノ學科目中ヨリ便宜選擇シテ之ヲ定ムヘシ

國語、漢文、支那時文、外國語、史學、哲學、倫理學、社會學、法律學、政治學、經濟學、數學、物理學、化學、植物學、動物學、礦物學、地質學、天文學、氣象學、應用化學、機械工學、實業ニ關スル科目等

第四節 教授上ノ注意

第二十二條 高等學校ニ於テハ高等學校令第一條ノ旨趣ニ依リ生徒ヲ教育シ殊ニ國民道德ノ充實ニ關聯セル事項ハ何レノ學科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス
各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス

第五節 教科書

第二十三條 高等學校ノ教科書ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ但シ文部大臣ノ檢定ヲ經タル中學校教科書ヲ尋常科ノ教科書トシテ使用スル場合ニ於テハ認可ヲ要セス

第二章 學年、教授日數及式日

第二十四條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテト爲スコトヲ得

第二十五條 教授日數ハ尋常科ニ在リテハ每學年二百二十日以上高等科ニ在リテハ每學年二百日以上專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條 傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 紀元節、天長節、祝日及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章 編制

第二十八條 尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス
高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外、文部大臣ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第四章 設備

第三十一條 高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ
第三十二條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ
第三十三條 校舍ニハ教室、事務室、其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、標本

室等ヲ備フヘシ

校舍ハ教授上、管理上及衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス
第三十四條 校具ハ教授上必要ナル圖書、器械、器具、標本、模型等トス
第三十五條 高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

- 一 學則、日課表及教科用圖書配當表
 - 二 職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表
 - 三 生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類
 - 四 試驗ノ問題、答案及成績表
 - 五 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、器械器具標本、模型ノ目錄
- 生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學、轉

學退學ノ年月日及其ノ學年卒業ノ年月日、入學試験ノ有無、轉學、退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第五章 入學、在學、休學、退學、及懲戒

第三十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

- 一 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
- 二 高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
- 四 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
- 五 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項ノ資格試験ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條 當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數高等科各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ中學校第四學年修了ノ程度ニ依リ試験ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ無試験檢定ヲ行ヒテ入學者ヲ定ムルコトヲ得

第四十五條 高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ體格檢査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ
前項入學者ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試

驗ニ依リ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條 高等學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタル時ヨリ一年以内ニ於テ高等學校ニ入學ヲ志願シタル時ハ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ退學シタル高等學校ニ再入學ヲ志願シタル者ニ限リ試験ニ依ラサルコトヲ得

第四十八條 高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第五十條 高等學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトヲ得
試験ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條 學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ專攻科ヲ卒リタルモノニハ得業證書ヲ尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條 學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五 出席常ナラサル者

第五十五條 生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章 豫科

第五十七條 高等學校ノ豫科ニ關シテハ中學校ノ豫科ニ關スル中學校令施行規則ノ規定ヲ準用ス

第八章 雜則

第五十八條 高等學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

- 一 學年、學期及休業日ニ關スル事項
- 二 學科課程、教授時數ニ關スル事項
- 三 課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
- 四 生徒ノ入學、退學懲戒ニ關スル事項

五 授業料、入學料等ニ關スル事項

七 山口高等學校設置授業開始(抄)

大正八年四月
文部省令第十三號

山口縣山口町ニ山口高等學校ヲ設置シ本年九月ヨリ授業ヲ開始ス

八 官立高等學校高等科入學者選抜試驗規程

大正八年四月
文部省令第十四號

第一條 入學志願者ノ數當該高等學校生徒募集人員ニ超過シタルトキハ選抜試驗ヲ行フ

第二條 各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒ノ概數、選抜試驗ニ關スル細目及出願ノ手續等ハ其ノ都度文部大臣之ヲ告示ス

第三條 選抜試驗ノ學科目ハ中學校第四學年マテノ必修學科目中ニ就キ之ヲ選定ス但シ外國語ハ英語、獨語及佛語ノ中本人ヲシテ其一ヲ選ハシム

山口高等學校設置授業開始(抄)
官立高等學校高等科入學者選抜試驗規程

前項ノ試験ハ中學校第四學年修了ノ程度ニ依ル

第四條 選拔試験ハ高等學校ヲ二班ニ分チ各班前後シテ之ヲ行フ

第五條 入學志願者ハ志望學校トシテ一校ヲ指定シ又ハ他班ニ屬スル一校ヲ併セ二校ヲ指定スルコトヲ得二校ヲ指定スル場合ニ於テハ其ノ志望ノ順位ヲ定ムヘシ

第六條 入學志願者ハ其ノ入學後修業セントスル科及類ヲ指定スヘシ但シ志望學校二校ノ場合ニ於テハ各異ナル科ヲ指定スルコトヲ得ス

指定スヘキ科及類ハ左ノ如シ

- 文科甲類英語ヲ第一外國語トスルモノ
- 文科乙類獨語ヲ第一外國語トスルモノ
- 理科甲類英語ヲ第一外國語トスルモノ
- 理科乙類獨語ヲ第一外國語トスルモノ

理科丙類佛語ヲ第一外國語トスルモノ
 選拔試験ノ外國語ニ英語ヲ選フ者ハ志望ノ類二箇以上(同一科内ノ類ニ限ル)ヲ併セ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ志望ノ類ノ順位ヲ定ムヘシ獨語ヲ選フ者ノ志望シ得ル類ハ文科乙類又ハ理科乙類ニ限リ佛語ヲ選フ者ノ志望シ得ル類ハ文科丙類又ハ理科丙類ニ限ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

九 高等學校高等科入學資格試驗規程

大正八年三月
文部省令第九號

第一條 高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試験ヲ受ケントスル者ハ年齢滿十六年以上ノ男子ニシテ身體健全品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ

第二條 高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ

第三條 試驗ハ中學校第四學年マテノ必須各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

第四條 專門學校入學者檢定規定第七條第二項又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニシテ試驗ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス專門學校入學者檢定規定

第八條ニ依リ試驗ヲ免除セラルル者ニ付亦同シ(大正十五年二月二日 文部省令第七號ヲ以テ改正)

第五條 中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ

第六條 高等學校高等科入學資格試驗ノ問題答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ

第七條 中學校ニ於テハ本令ノ試驗ニ付試驗手数料ヲ徵收スルコトヲ得

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

(大正十五年二月二日 文部省令第七號附則)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等學校高等科入學資格試驗施行ニ關スル手續ヲ開始シタルモノニ在リテハ當該試驗ニ關シ仍從前ノ例ニ依ル

十 專門學校入學者檢定規程

大正十三年十月 文部省令第二十二號

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ本令ニ依リ學力ノ檢定ヲ受クヘシ

第二條 檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第三條 試驗檢定ハ毎年少クトモ一回之ヲ行フ
試驗檢定ノ出願期限試驗施行ノ期日及場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ告示ス

第四條 試驗檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ受験願書(第一號書式)(書式略)ノ書類ヲ添へ受験地ノ地方廳ヲ經由シ文部大臣ニ出願スヘシ

一 履歷書(第二號書式)(書式略)

二 戶籍抄本

三 寫真(手札形トシ出願前三月以内ニ脱帽ニテ撮影シタルモノニシテ裏面ニ撮影年月日本籍氏名ヲ記載スヘシ)

四 第七條第二項ニ依ル證明書ノ寫又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ノ寫

五 第八條ノ資格ヲ證明スル書面

第六條 試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ手數料トシテ金七圓ヲ納付スヘシ

第七條 試驗檢定ニ合格シタル者ニハ合格證書(第三號書式)(書式略)ヲ交付ス

試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セサルモ受験學科目中合格點ヲ得タルモノアルトキハ其ノ證明書(第四號書式)(書式略)ヲ交付ス

前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ試驗檢定ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試験ヲ免除ス

前項ノ規定ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニ付之ヲ準用ス

第八條 試驗檢定ノ學科目中一科目又ハ數科目ニ就キ中學校若ハ修

業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト認ムル者ニ對シテハ當該學科目ノ試験ヲ免除ス

第九條 合格證書ヲ有スル者其ノ氏名本籍ヲ變更シ又ハ合格證書ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ書換若ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得前項ニ依リ合格證書ノ書換若ハ再交付ヲ出願スル者ハ手数料トシテ金壹圓ヲ納付スヘシ

第十條 試験ニ關シ不正ノ行爲アリタル者ニ對シテハ其ノ試験ヲ停止シ尙期間ヲ定メテ試験ヲ受ケシメサルコトアルヘシ
大正七年文部省令第三號高等試験令第七條及第八條ニ依リ試験ヲ停止セラレタル者ハ其ノ停止セラレタル期間本令ノ試験ヲ受クルコトヲ得ス

試験ニ關シ不正ノ行爲アリタルコト後日發覺シタルトキハ既ニ交付シタル合格證書又ハ證明書ハ其ノ效力ヲ失フ

第十一條 無試験檢定ハ當該専門學校ニ於テ入學ノ際之ヲ行フ

無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ文部大臣ニ於テ専門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本令ニ依リ納付スヘキ手数料ハ收入印紙ヲ用キ之ヲ願書ニ貼付スヘシ其ノ既ニ納メタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ専門學校入學者試験檢定施行ニ關スル手續ヲ開始シタルモノニ在リテハ當該試験檢定ニ關シ仍從前ノ規程ニ依ル

十一 文部省直轄學校外國人特別入學規程

明治三十四年十一月
文部省令第十五號

- 第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラ
ス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教科ヲ受ケントスル者ハ外務省在
外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許
可スルコトアルヘシ
- 第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添
ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ
- 第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ願出ヲ受ケタルトキ
ハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ
設備上差支アル場合ハ此ノ限リニ在ラス
- 第四條 本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明
書ヲ受ケントスル者ハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

- 第五條 本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料及入學
料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得
- 第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ
必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附 則

- 第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラ
ス入學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタル者ト見做ス
- 第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生
ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

十二 臺灣人朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ

外國人特別入學規程準用

明治四十四年四月
文部省令第十六號

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用

文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規定
高等學校高等科學力檢定規程
四八

ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

十三 文部省直轄學校生徒ノ學校長ノ許可ナ

クシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無効ニ關スル規程
明治三十八年十月
文部省令第十八號

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無効トス

十四 高等學校高等科學力檢定規定

大正十年十一月
文部大臣訓令

第一條 高等學校高等科學力檢定試驗ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定試驗施行ノ通告アリタル場合ニ限リ高等學校ニ於テ施行ス
試驗ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

第二條 試驗ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ高等

學校高等科ニ入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ必修各學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試驗ヲ行フヘシ
第三條 試驗ヲ受ケントスル者ハ受験料金五圓ヲ納ムヘシ既納ノ受験料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス
第四條 試驗ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

校印	證明書	族籍	何
			某
			何年何月生
			右ハ當校試験ノ成績ニ依リ高等學校高等科何科ノ卒業ト同等ノ學力アルコトヲ證明ス
第 號	年月日	某高等學校長位勳氏	名 印

附則

大學豫科學力檢定規程ハ之ヲ廢止ス

十五 教員檢定ニ關スル規程(抄)

期治四十一年十一月
文部省令第三十二號

第一條 教員檢定ハ受験人ノ學力、性行、身體ニ就キ之ヲ行フ
第三條 (前略)無試験檢定ハ隨時之ヲ行フ

(第二項略)

第四條 檢定ヲ受ケントスル者ハ第一號書式(書式略)ノ願書ニ左ノ
書類ヲ添ヘ(中略)無試験檢定ニ在リテハ地方廳若ハ當該學校ヲ經
由シテ文部大臣ニ出願スヘシ

一 第二號書式(書式略)ノ履歷書及受験資格ニ關スル學校卒業證
書若ハ教員免許狀ノ寫

三 第七號書式(書式略)ノ學校醫ノ身體檢查書但シ學校醫ノ設置

ナキ地ニ在リテハ醫師法ニ依ル醫師ノ身體檢查書ヲ以テスル
モ妨ケナシ
地方長官又ハ當該學校長ハ本人ノ品行ニ就キ意見ヲ具申スル
コトヲ要ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ文部大臣ノ適當ト認メタル學
科目ニ關シ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得
一 文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者及選科修了者

十六 教員無試験檢定ニ關スル指定學校名及學科目(抄)

明治三十六年二月
文部省令第三十號

學 校	修了學科	檢 定	學 科	目
高等學校	高等科文科	英語	英語	英語ヲ以テ入學シ主ト シテ英語ヲ修メ其成績 優等ナル者ニ限ル
	高等科理科	英語	(同)	前) 數學 第三學年ニ於テ數學每週 六時間ヲ修メ且數學ノ成 績優等ナル者ニ限ル

大正十二年
四月文部省
告示第二百
六十二號ヲ
以テ改正

○學 則

第一章 總 則

第一條 本校ハ大正七年勅令第三百八十九號ニ依リ高等普通教育ヲ完成シ特ニ國民道德ノ充實ヲ計ルヲ以テ目的トス

第二條 本校ハ高等科ノミヲ置キ修業年限ヲ三年トス

第三條 本校ノ學科ハ之ヲ分チテ文科及理科トス

第二章 學年、學期及休業

第四條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル(大正十年四月改正)

第五條 學年ハ分チテ三學期トス(大正十年四月改正)

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日マテ
 第六條 休業日左ノ如シ (大正十年四月改正)

日 曜 日

夏季休業 七月十一日ヨリ九月五日マテ

秋季皇靈祭 秋分日

創立記念日 十月十六日 (大正十一年四月改正) (大正十五年五月改正)

神嘗祭 十月十七日

天長節祝日 十月三十一日

新嘗祭 十一月二十三日

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

紀元節 二月十一日

春季休業 三月十一日ヨリ四月十日マテ

第三章

學科課程及教授時數

第七條 文科ノ學科課程及教授時數ハ左表ノ如シ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		六	五	五
第一外國語		九	八	八
第二外國語		(四)	(四)	(四)
歷史		三	五	四
地理		二		三
哲學概說				二
心理及論理			二	二
法制及經濟			二	二
數學		三	三	
自然科學		二	三	
體操		三	三	三

第一外國語ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一一	一〇	一〇
第二外國語		(三)	(三)	(三)
計		(三二)	(三二)	(三二)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ハ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトアルヘシ (大正十四年四月改正)

第八條 理科ノ學科課程及教授時數ハ左表ノ如シ

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		四	二	六
第一外國語		八	六	(四)
第二外國語		(四)	(四)	(四)
數學		四	四	(一)四
物理學			三	講義三 實驗三
化學			三	講義三 實驗三
植物及動物		二	二	講義二 實驗二
礦物及地質		二		講義二 實驗二
心理			二	
法制及經濟		二		
圖書		二	二	(一)
體操		三	三	三
計		(三二)	(三二)	(三二)

第三學年ノ數學〔二〕及圖畫〔二〕ト第三學年ノ植物及動物〔講義二實驗二〕トハ生徒ニ於テ其ノ一ヲ選擇スルコトヲ得
 第一外國語ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一〇	九	九
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	(三〇)	(三三)	(三三)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトアルヘシ (大正十四年四月改正)

第九條 外國語ハ英語又ハ獨語トス

第四章 課程ノ修了及卒業

第十條 各學年末ニ於テ生徒ノ學業成績ヲ考查シ學年課程ノ修了又ハ卒業ヲ定ム

第十一條 各學年ノ課程修了ハ當該學年ニ於ケル行狀勤惰平素ノ成績及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム但シ學科目ノ種類ニ依リ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第十二條 卒業ノ成績ハ三學年間ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

第十三條 試験ヲ分チテ平常試験及定期試験トス

平常試験ハ學科ノ進度ニ應シ臨時之ヲ施行ス

定期試験ハ學期末ニ於テ之ヲ施行ス

第十四條 學業成績ハ科目評點及平均評點ヲ以テ表示シ各一百ヲ以テ最高トス

第十五條 學年評點左ノ各號ノ一ニ當ル者ハ進級又ハ卒業スルコト

ヲ得ス

- 一 平均評點六十未滿ナルトキ
 - 二 一科目ノ評點四十未滿ナルトキ
 - 三 科目評點五十未滿ノモノ二科目以上アルトキ
 - 四 科目評點六十未滿ノモノ五科目以上アルトキ
- 前項各號ノ一ニ當ラスト雖正當ノ事由ナクシテ缺席、缺課及遲刻多キニ過クルトキハ進級又ハ卒業セシメサルコトアルヘシ(大正十一年四月追加)
- 第十六條 試験ニ缺席シタル者ノ評點ハ當該學期ニ於ケル平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム
- 第十七條 缺席、休學、停學等ノ爲平素ノ成績ヲ考查スルコト能ハサルトキハ隨機ノ處分ヲナス
- 第十八條 各學年ノ課程ヲ修了セサル者ハ次學年ニ於テ當該學年ノ全科ヲ再修セシム

第十九條 學業成績ノ考查ニ關シテハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 所定ノ課程ヲ履修シ卒業セル者ニハ第一號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

第五章 入學、退學、休學、除名及懲戒

- 第二十一條 入學ノ期ハ每學年ノ始ヨリ三十日以内トス
- 第二十二條 本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且體格検査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ
 - 一 中學校第四學年ヲ修了シタル者
 - 二 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
 - 三 高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者
 - 四 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
 - 五 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
 - 六 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト

同等以上ノ學力アリト指定シタル者

第二十三條 入學志願者ハ其ノ入學後修業セムトスル科及類ヲ指定スヘシ

指定スヘキ科及類ハ左ノ如シ

文科 甲類英語ヲ第一外國語トスルモノ

文科 乙類獨語ヲ第一外國語トスルモノ

理科 甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ

理科 乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ

選拔試験ノ外國語ニ英語ヲ選フ者ハ志望ノ類ニ箇同一科内ノ類ニ限ルヲ併セ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ志望ノ類ノ順位ヲ定ムヘシ獨語ヲ選フ者ノ志望シ得ル類ハ文科乙類又ハ理科乙類ニ限ル

第二十四條 各科類入學志望者ノ數入學セシムヘキ者ノ數ニ超過ス

ルトキハ大正八年文部省令第十四條ニ依リ選拔試験ヲ行フ(大正十四年四月改正)

第二十五條 入學檢定料ハ金五圓トス

既納ノ入學檢定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ還付セス(大正十四年四月改正)

第二十六條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日マテニ保證人ノ連書セル在學誓書(第二號書式)ニ戶籍謄本並入學資格證明書(學則第二十二條各號ノ一ニ

該當スル證明書)ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

保證人タルヘキ者ハ生徒ノ父兄若ハ父兄ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキ者トス

保證人ハ被保證人ヲシテ能ク校則等ヲ遵守セシメ且其ノ身上ニ係ル一切ノ責務ヲ有ス

保證人死亡其ノ他ノ事由ノ爲其ノ責ヲ盡スコト能ハサルトキハ速ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學誓書ヲ差出スヘシ(大正十二年三月改正)(大正十四年四月改正)

第二十七條 入學シタル者ハ本校所定ノ方式ニ從ヒ宣誓ヲ爲スヘシ

(大正十二年) (大正十四年)
(三月改正) (四月改正)

第二十八條 入學後ニ於テ修業科類ヲ變更セントスル者ニ對シテハ其ノ轉入セントスル科類ニ缺員アル場合ニ限り試験ノ上許可スルコトアルヘシ但シ第一學年ナルトキハ更ニ第二十四條ノ選抜試験ヲ受ケジム

前項本文ノ志望者ハ四月十五日マテニ變更ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ (大正十四年四月改正)

第二十九條 疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ三箇月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ハ願ニ依リ其ノ學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十條 休學セントスル者ハ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ニ由ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ (大正十二年三月改正)

第三十一條 陸軍又ハ海軍現役ニ服シ若ハ召集ニ應スル者ハ其ノ服

役召集ノ間休學トス

第三十二條 休學シタル者ハ次學年ノ始ヨリ當該學年ノ全學科課程ヲ修メシム但シ前條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除ノ後直ニ原級ニ復スヘシ

第三十三條 疾病其ノ他ノ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ニ由ル場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ (大正十二年三月改正)

第三十四條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ他學校ノ入學試験ヲ受クルコトヲ得ス

第三十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ除名ス

- 一 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 二 引續キ一年以上缺席シタル者
- 三 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

四 出席常ナラサル者

五 二回引續キ原級ニ止マル者但シ第三十一條ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラス (大正十年十二月改正)

六 授業料又ハ學寮費ノ滯納十五日ニ及フ者
前項各號ノ外學校長ハ臨機除名ヲナスコトアルヘシ

第三十六條 本校ヲ退學シタル者又ハ除名セラレタル者退學又ハ除名ノ日ヨリ一年以内ニ於テ再ヒ入學ヲ出願スルトキハ缺員アル場合ニ限リ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ (大正十年十二月改正) (大正十五年三月改正)

第三十七條 品行不良或ハ校規風紀ヲ紊亂シ其ノ他生徒ノ本分ニ背戻スル者ハ之ヲ懲戒ス

第三十八條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭停學放校ノ三種トス

第六章 入學料及授業料

第三十九條 入學ノ許可ヲ受ケタル者ハ指定ノ期日マテニ入學料金

參圓ヲ納ムヘシ

第四十條 授業料ハ一學年金六拾五圓トス但シ大正九年九月及同十二年四月ニ入學シタル者ノ授業料ハ金四拾圓トシ大正十一年同十二年及同十三年ノ四月ニ入學シタル者ノ授業料ハ金五拾圓トス

(大正九年九月改正) (大正十一年四月改正) (大正十四年四月改正) (大正十四年四月改正)

第四十一條 授業料ハ左ノ三期ニ分納セシム

期 別	大正十四年四月以後入學者	大正十一年、同十二年及同十三年ノ四月入學者	大正九年九月及同十年四月入學者	納 期
-----	--------------	-----------------------	-----------------	-----

第一期	金拾九圓五拾錢	金拾五圓	金拾貳圓	四月十一日ヨリ四月二十日マテ
-----	---------	------	------	----------------

第二期	金貳拾六圓	金貳拾圓	金拾六圓	九月六日ヨリ九月二十日マテ
-----	-------	------	------	---------------

第三期	金拾九圓五拾錢	金拾五圓	金拾貳圓	一月八日ヨリ一月二十日マテ
-----	---------	------	------	---------------

前項納期以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學ノ許可ヲ得タル日ヨリ七日以内ニ當該期ノ授業料ヲ納付スヘシ

第四十二條 授業料ハ缺席停學等ノ爲ニ免除セス

第四十三條 學年ノ中途ニ退學又ハ休學シタル者ニ對スル授業料ハ次期以降ノ分納額ヲ徵收セス但シ第三十一條ニ依リ休學シタル者ニ在リテハ其ノ休學ノ日納期最終日前ニ屬スルトキハ次月分ヨリ納期最終日後ニ屬スルトキハ次期分ヨリ之ヲ徵收セス

前項但書該當者休學ノ事故止ミテ學年ノ中途ニ於テ課業ニ就キタルトキハ當該期ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徵收ス(大正十三年四月改正)

第四十四條 既納ノ入學料又ハ授業料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ還付セス

第四十五條 第四十三條第一項但書及同條第二項ノ場合ニ於ケル授業料ノ月割額ハ金六圓五拾錢大正九年九月及同十年四月入學者ハ金四圓同十一年同十二年及同十三年ノ四月入學者ハ金五圓トス但シ第一期授業料ノ月割ニ關シテハ七月及八月ヲ算入セス(大正九年九月改正)

(大正十年四月改正) (大正十一年四月改正) (大正十三年四月改正) (大正十四年四月改正)

第七章 學寮

第四十六條 學寮ハ生徒ヲ寄宿セシメ本校教育ノ趣旨ニ從ヒ心身ヲ鍛鍊シ學術ヲ自習セシムル處トス

第四十七條 新ニ入學シタル生徒ハ特別ノ事情ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ外總テ學寮ニ入ルヘキモノトス

第四十八條 在寮生徒ニシテ退寮セント欲スル者ハ其ノ事由ヲ具シテ願出ツヘシ

第四十九條 在寮生徒ニシテ疾病ニ罹リタルトキハ退寮又ハ外泊セシムルコトアルヘシ

第五十條 學寮費ハ一學年金貳拾貳圓トシ左ノ三期ニ分納セシム
第一期 金八圓

第二期 金八圓

第三期 金六圓

學寮費ノ納期ハ授業料ノ納期ニ依ル但シ納期以後ニ入寮ヲ許可セラレタル者ハ入寮許可ヲ得タル日ヨリ七日以内ニ納付スヘシ
 學寮費納期最終日後入寮スル者ノ學寮費ハ其ノ月分ヨリ學寮費最終日前ニ退寮スル者ノ學寮費ハ其ノ月分ヲ徴收ス
 前項ノ場合ニ於ケル學寮費ノ月割額ハ金貳圓トス但シ第一期學寮費ノ月割ニ關シテハ八月ヲ算入セス(大正十一年四月改正)(大正十三年四月改正)
 第五十一條 既納ノ學寮費ハ何等ノ事情アルモ還付又ハ減額セス
 第五十二條 在寮生徒ニシテ其ノ本分ニ悖戾スル行爲アリト認ムルトキハ情狀ニ依リ退寮ヲ命スルコトアルヘシ

第一號書式

卒業證書

校印

府(縣)族稱
氏

年月日生名

右者本校所定ノ文(理)科ノ學科ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年月日

山口高等學校長 位勳學位爵 氏

名 印

番 號

第二號書式(大正十二年三月改正)

三錢收
入印紙

在 學 誓 書

某(生徒ノ名)儀御校在學中校則等ヲ遵守可致ハ勿論學籍ヲ脱シ候後ト雖在學中ニ生シタル一切ノ義務ハ必履行可致萬一違背致候節ハ保證人ニ於テ一切之ヲ引受可申仍テ誓書如件

年月日

山口高等學校長 氏

名 殿

本 籍
現 住 所
職 業

生徒トノ關係

保 證 人 氏

科 類 第 學 年 生 徒 氏

年 月 日 生 名

年 月 日 生 名

○生徒心得

本校生徒タルモノハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ヲ奉體シ國家有用ノ材
タランコトヲ期スヘシ茲ニ其ノ大綱五條ヲ舉ク

- 一 學德ヲ練磨シテ立身報國ヲ念トスヘキコト
- 二 心身ヲ鍛鍊シテ高潔剛健ノ氣風ヲ養フヘキコト
- 三 規律ヲ守リ禮節ヲ重ンシ暴慢輕浮ノ行爲アルヘカラサルコト
- 四 質素ヲ旨トシ忍耐ノ氣風ヲ養フヘキコト
- 五 校風ヲ振作シ苟モ自己ノ品位ヲ汚スカ如キ行爲アルヘカラサルコト

○細則

一 學則施行細則

第一章 學科及授業

- 第一條 學則第三章ニ掲クル學科ハ別ニ定ムル教授要目ニ依リ之ヲ實施ス
 - 第二條 每週授業ノ日課ハ學年ノ始ニ之ヲ定ム但シ場合ニ依リ學年ノ半途ニ於テ之ヲ變更シ又ハ臨時日課ヲ變更スルコトアルヘシ
 - 第三條 事故ニ依リ豫定ノ進度ニ達セスト認ムルトキハ所定日課以外ノ授業ヲ課スルコトアルヘシ
 - 第四條 一授業時ヲ五十分トス
- 實驗、圖畫、體操等ニ於テハ一授業時ヲ延長シ又ハ二授業時以上連續

シテ授業スルコトアルヘシ

第五條 授業ノ始終ハ號鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第六條 生徒ハ授業始ノ號鐘ヲ聞クトキハ直ニ着席シ教官ノ入場ヲ待ツヘシ

第七條 生徒ハ授業ノ始及終ニ於テ教官ニ對シ敬禮スヘシ

第二章 在學及通學

第八條 通學生徒ハ異動ノ有無ニ拘ラス毎年四月十五日迄ニ宿所届ヲ差出スヘシ(大正十年四月改正)

宿所届用紙ハ生徒課ニ申出テ交付ヲ受クヘシ

第九條 宿所ヲ變更セントスル者ハ豫メ生徒課ノ承認ヲ得テ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 生徒ノ宿所ヲ不適當ナリト認ムルトキハ轉宿ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條 生徒遅刻、缺課又ハ缺席スルトキハ其ノ當日ヨリ三日以内ニ所定ノ用箋ニ其ノ事由ヲ明記シ届出ツヘシ但シ引續キ缺席シ本文ノ手續ヲ爲ス能ハサルトキハ最初ヨリ三日以内ニ書面ヲ以テ届出ツヘシ又疾病七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十二條 通學生歸省又ハ旅行セントスルトキハ其ノ事由及旅行先ヲ明記シ豫メ届出ツヘシ

第十三條 生徒ノ本籍、身分ニ又ハ保證人ノ本籍、身分、現住所、職業ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ届出ツヘシ但シ本籍、身分、異動ノ場合ハ市區町村長ノ證明書ヲ添付スヘシ (大正十年四月改正)

第三章 成績考查試験

第十四條 學業成績評點科目數左ノ如シ

文科甲類

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身			一	一
國語漢文及作文		三	三	三
第一外國語		三	三	三
第二外國語		一	一	一
歷史		一	二	一
地理		一		
哲學概説				一
心理及論理			一	一
法制及經濟			一	一
數學		一		
自然科學		一	一	
體操		一	一	一
計		一二	一四	一三

文科乙類

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	三	一	一
國語漢文及作文	三	三	三
第一外國語	三	三	三
第二外國語	一	一	一
歷史	一	二	一
地理	一		一
哲學概說			一
心理及論理		一	一
法制及經濟		一	一
數學	一		
自然科學	一	一	
體操	一	一	一

計

一二

一四

一三

理科甲類

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	二	一	一
國語漢文及作文	三	二	二
第一外國語	一	一	一
第二外國語	二	二	二
數學		二	(一)二
物理		一	二
化學		一	二
植物及動物	一	一	(二)
礦物及地質	一		
心理		一	

理科乙類

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身			
國語漢文及作文	二	國語 作文	一
第一外國語	三	三	三
第二外國語	一	一	一
數學	二	二	(一)二
物理		一	二
化學		一	
計	一三	一三	一三
圖畫	一	一	(一)
體操	一	一	一
法制及經濟	一		

計	學科目					
	體操	圖畫	法制及經濟	心理	礦物及地質	植物及動物
一三	一	一	一		一	一
一四	一	一		一		一
一四	一	(一)				(二)

第二外國語ハ之ヲ修ムルモノニ對シテハ他學科ト同一ニ取扱フモノトス

第十五條 各教官ハ每學期末ニ於テ其ノ擔任ニ屬スル科目評點ヲ定ム修身擔任教官ハ第一學期末及第二學期末ニ於ケル成績考查ヲ行ハサルコトヲ得

第十六條 平常試驗ハ每學期一回以上施行スルヲ常例トス其ノ期日

ハ學科擔任教官之ヲ定メ豫メ教務課ニ報告スヘシ

第十七條 學期試驗ハ當該學期ニ於テ履修セル部分ニツキ施行ス但シ必要ト認メタルトキハ當該學期前ニ履修セル部分ヲモ試驗スルコトアルヘシ

第十八條 各學科ノ學科評點ハ各學期評點ノ和ヲ三除シタルモノトス

第十九條 同一學年間ニ於テ二回以上學期試驗ニ缺席シタルモノハ特別ノ詮議ニ依ル外學年評點ヲ附セス

第二十條 卒業ノ成績ハ第一第二第三學年ノ各學年平均點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

第二十一條 在學生徒ノ席次ハ各學年ノ成績ニ依リ卒業席次ハ卒業ノ成績ニ依リ各科類ニツキ之ヲ定ム

第四章 學級總代

第二十二條 各學級ニ總代二名ヲ置ク

第二十三條 學級總代ハ當該學級生徒ヲシテ若干名ノ候補者ヲ互選セシメ其ノ中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第二十四條 學級總代ハ學級主任ノ指揮ヲ受ケ所屬學級内ノ風紀ニ注意シ命令ヲ傳達シ教室内ノ秩序及清潔ヲ保持スヘシ

第二十五條 學級總代ノ任期ハ一學年トス

第五章 服裝

第二十六條 生徒登校スルトキハ必ス所定ノ制服ヲ着用スヘシ但シ脚絆ハ特ニ指定シタル場合ノ外着用セサルコトヲ得

第二十七條 生徒外出ノ際ハナルヘク制服ヲ着用スヘシ和服ノ場合ハ必ス袴及制帽ヲ着用スヘシ

第二十八條 夏服着用ノ期間ハ其ノ都度之ヲ揭示ス

第二十九條 服制左ノ如シ

一、冬帽

製式 丸形

地質 黒羅紗

前章 柏三葉ニ山高ノ二字ヲ配ス

横章 白三條

二、夏帽

製式 本校所定ノモノ

地質 麥藁

前章 冬帽ニ同シ

横章 焦茶ニ白三條

三、冬服

製式 背廣形立襟

地質 濃紺小倉若ハ濃紺「ヘル」

四、夏服

金色圓内山高ノ二字ヲ表ス

製式 冬服ニ同シ

地質 鼠霜降小倉

鈕 冬服ニ同シ

五、靴

製式 黒革又ハ黒「ツツク」

六、脚絆

製式 卷脚絆

第三十條 夏服用ノ期間ニ於テハ夏帽ヲ著用スルコトヲ得但シ儀式若ハ體操ノ時ハ冬帽ヲ用ウヘシ

第六章 學寮

第三十一條 學寮生徒ハ生徒監指揮ノ下ニ學則第四十六條ノ履行ヲ

期スヘシ

第三十二條 寮内ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ得テ生徒監之ヲ定ム

第三十三條 各室人員ノ配當ハ生徒監之ヲ定ム

第三十四條 各寮ニ寮總代一名及委員若干名ヲ置ク

第三十五條 寮總代ハ生徒監ノ指揮ヲ受ケテ寮内ノ風紀ニ注意シ秩序清潔ヲ保持スヘシ

第三十六條 寮委員ハ總代ノ任務ヲ輔佐シ其ノ用務ヲ分掌ス

第三十七條 黙習時間ハ嚴ニ沈黙ヲ守リ妄ニ言語ヲ交ヘ又ハ遊戯等ヲ爲スヘカラス

第三十八條 黙習時間外ト雖放歌口論又ハ安眠ヲ妨害スルカ如キ行爲アルヘカラス

第三十九條 歸寮並外出ノ際ハ玄關備附ノ名札ヲ表裏スヘシ

第四十條 毎朝所持品寢具等ヲ整頓シ室内ヲ掃除スヘシ

第四十一條 人員ノ點檢ハ臨時之ヲ行フ

第四十二條 門限ニ後レテ歸寮セシ者ハ備附ノ帳簿ニ其ノ事由ヲ明記シテ届出ツヘシ

第四十三條 歸省セントスル者又ハ止ヲ得サル事故ニ依リテ外泊セントスル者ハ其ノ事由ヲ明記シテ願出ツヘシ

第四十四條 學寮生徒ハ別ニ定ムル所ノ食費ヲ毎月十日迄ニ生徒課ニ納付スヘシ但シ一月四月及九月ハ其ノ月十五日迄ニ納付スヘシ
(大正九年九月改正) (大正十一年四月改正) (大正十三年四月改正)

第四十五條 夏季休業中ハ學寮ヲ閉鎖ス

二 生徒心得細則

第一條 生徒ハ本校ノ規則告示命令等ニ服從シ特ニ生徒心得ノ趣旨ヲ服膺シ生徒タルノ本分ヲ完ウセンコトヲ期スヘシ

- 第二條 生徒ハ本校職員ニ對シテハ勿論相互ニ敬禮スヘシ
- 第三條 生徒ハ酒類ヲ飲用スヘカラス
- 第四條 生徒ハ料理店又ハ風儀ヲ紊ス虞アル場所ヘ出入スヘカラス
- 第五條 生徒ハ校内ニ於テハ所定ノ場所ノ外喫煙スヘカラス
- 第六條 生徒集會ヲナサントスルトキハ豫メ生徒課ニ届出ツヘシ但シ校舎ノ一部ヲ借用セントスルトキハ教務課ノ許可ヲ受クヘシ
- 第七條 生徒揭示ヲナサントスルトキハ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ
- 第八條 生徒ハ授業ヲ受クルトキノ外教室ニ入ルヘカラス
- 第九條 本校告示ハ所定ノ場所ニ揭示シタル以上ハ全般ニ了知セラレタルモノト見做スヲ以テ生徒ハ常ニ揭示場ニ注意スヘシ
- 第十條 本校所屬ノ建物又ハ器物ヲ毀損シタルトキハ辨償セシムルコトアルヘシ
- 第十一條 左記ノ一ニ該當スル「マント」ハ使用スヘカラス

色 黒色以外ノモノ

仕立方 襟ニ「ピロード」毛皮等ヲ附ケタルモノ

裏地 黒色以外ノモノ

第十二條 近火又ハ事變アルトキハ直ニ登校シ職員ノ指揮ヲ受クヘシ

第十三條 新ニ入學シタル生徒ハ五月十日マテニ指導ヲ受ケントスル教官ノ内諾ヲ得テ其ノ旨届出ツヘシ(大正十年四月改正)

第十四條 生徒ヨリ提出セル願届書ハ總テ指導教官ノ檢閲ヲ經テ生徒課ニ差出スヘシ但シ指導教官未定ノ場合又ハ事故ノ爲學校ニ出勤セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

三 校務分掌規程

第一條 校務ヲ分チテ授業及事務トス

第二條 授業ハ各教官ヲシテ之ヲ分擔セシメ所定ノ教授訓育ニ當ラシム

第三條 事務ヲ分チテ教育及分課事務トス

第一章 教育事務

第四條 教官ノ一人ヲ以テ教頭ニ充テ全般ノ事務ニ參與セシム(大正十年)

(四月追加)

第五條 教育事務ニ於テ各教官ノ擔任スヘキモノ概ネ左ノ如シ

- 一 生徒ノ學業成績ヲ調査スルコト
- 二 生徒ノ操行勤惰ヲ調査スルコト
- 三 教室内ノ秩序ヲ保持スルコト
- 四 擔任學科教授要目ヲ調製スルコト
- 五 教育ノ成績及教授ノ經過ヲ報告スルコト
- 六 其他生徒ノ教育ニ關スル一切ノコト

第六條 教育事務整理ノ責ニ任セシムル爲メ學科主任學級主任及指導教官ヲ置ク

第七條 學科主任ハ左ノ學科ニ就キ各一人トシ各教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第一學科 修身、哲學概説、心理及論理、法制及經濟

第二學科 國語及漢文

第三學科 英語

第四學科 獨語

第五學科 歴史、地理

第六學科 數學

第七學科 物理、化學

第八學科 植物及動物、礦物及地質、自然科學

第九學科 圖畫

第十學科 體操

第八條 學科主任ハ當該學科授業ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置ヲ爲スモノトス

第九條 學級主任ハ各學級一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス學級主任ノ任期ハ一學年トス

第十條 學級主任ハ所屬生徒ヲ統率シ其ノ學業ヲ督勵シ風紀ヲ振肅シ其ノ他當該學級ニ關スル事項ヲ臨機處置スルモノトス

第十一條 指導教官ハ教官中ニ就キ學校長之ヲ委囑シ全生徒ヲシテ之ニ分屬セシム

第十二條 指導教官ハ所屬生徒ノ品行學業健康等ニ關シ終始適切ナル指導ヲ與ヘ生徒ヲシテ其ノ本分ヲ完ウセシメンコトヲ期スヘシ

第十三條 指導教官ハ生徒ヨリ差出ス總テノ願届書等ヲ豫メ檢閱スヘシ

第十四條 各指導教官所屬ノ生徒數ハ二十名内外トス

第二章 分課事務

第十五條 本校ニ教務課、生徒課、庶務課、圖書課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム

第十六條 各課ニ課長ヲ置キ學校長ノ指揮ヲ受ケテ當該課ニ關スル事務ヲ掌理セシム

第十七條 課長ハ職員中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第十八條 各課所屬ノ職員ハ課長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ従事ス

第十九條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 學科課程ニ關スルコト
- 二 日課ノ配當及教官ノ分擔ニ關スルコト
- 三 授業及休業ニ關スルコト
- 四 教科用圖書ニ關スルコト

- 五 生徒募集及入學ニ關スルコト
- 六 選拔試験ニ關スルコト
- 七 試験成績考查、進級及卒業ニ關スルコト
- 八 成績證明及學力檢定ニ關スルコト
- 九 學級編成ニ關スルコト
- 十 生徒ノ修業科類及志望學科ニ關スルコト
- 十一 教授上ノ設備ニ關スルコト
- 十二 教室ニ關スルコト(特別教室ヲ除ク)
- 十三 修學旅行ニ關スルコト
- 十四 卒業生ニ關スルコト
- 十五 教官ノ報告ニ關スルコト
- 十六 教官會議ニ關スルコト
- 十七 參觀人取扱ニ關スルコト

第二十條 其他教務ニ關スル一切ノコト

- 一 生徒ノ訓育及風紀ニ關スルコト
- 二 生徒ノ勤惰ニ關スルコト
- 三 生徒ノ服裝ニ關スルコト
- 四 生徒ノ賞罰ニ關スルコト
- 五 生徒ノ學籍及兵役ニ關スルコト
- 六 退學、休學其ノ他生徒ノ事故ニ關スルコト
- 七 在學證明ニ關スルコト
- 八 生徒ノ願届ニ關スルコト
- 九 體育及運動ニ關スルコト
- 十 學校衛生ニ關スルコト
- 十一 體格檢査ニ關スルコト

- 三 生徒控所ニ關スルコト
 - 三 學寮ノ管理及警備ニ關スルコト
 - 四 生徒ノ入學及退學ニ關スルコト
- 第二十一條 庶務課ニ庶務係會計係ヲ置ク
庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 御眞影及勅語ノ保管ニ關スルコト
 - 二 校長官印及校印ノ保管ニ關スルコト
 - 三 職員ノ進退及身分ニ關スルコト
 - 四 職員ノ服務ニ關スルコト
 - 五 雇外國人ニ關スルコト
 - 六 公文書處理ニ關スルコト
 - 七 統計報告及一覽等ニ關スルコト
 - 八 諸規則ノ制定改善ニ關スルコト

- 九 日誌及記錄ニ關スルコト
 - 十 諸儀式ニ關スルコト
 - 十一 校章ニ關スルコト
 - 十二 當直ニ關スルコト
 - 十三 寄贈ノ金品等ニ關スルコト
 - 十四 他ノ課ニ屬セサル一切ノコト
- 會計係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 歲入歲出豫算及決算ニ關スルコト
 - 二 國有財産及資金ノ保管ニ關スルコト
 - 三 金錢ノ收支保管ニ關スルコト
 - 四 物品ノ購入及修理ニ關スルコト
 - 五 物品ノ出納及保管ニ關スルコト
 - 六 不用物品ノ處分ニ關スルコト

- 七 營繕ニ關スルコト
 - 八 電話電燈瓦斯給水及煖房ニ關スルコト
 - 九 防火警備及取締ニ關スルコト
 - 十 校舍内外ノ清潔及掃除ニ關スルコト
 - 十一 備入ノ進退及取締ニ關スルコト
 - 十二 門鑑ニ關スルコト
 - 十三 其他會計ニ關スル一切ノコト
- 第二十二條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 圖書ノ保管整理出納ニ關スルコト
 - 二 圖書印ノ保管ニ關スルコト
 - 三 圖書目錄編纂ニ關スルコト
 - 四 圖書ノ選定ニ關スルコト
 - 五 圖書ノ貸付ニ關スルコト

- 六 書庫及閱覽室ニ關スルコト
 - 七 新聞雜誌年報一覽等ノ保管整理及出納ニ關スルコト
 - 八 其他圖書ニ關スル一切ノコト
- 第二十三條 各課ノ主掌事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ合議スヘシ
- 第二十四條 各課所屬ノ職員ハ常務ノ外時宜ニ依リ他課ノ事務ヲ補助スヘシ

四 外國人特別入學規程細則

第一條 文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ本校ニ入學ヲ志願スル者ハ其ノ學力ヲ檢定シ且體格檢査ヲ施行シテ之ヲ許否ス學力檢定ノ方法ハ試驗ニ依ル

本校ニ入學シ得ヘキ資格ヲ有スル外國人ハ其ノ入學志願ト同時ニ

選拔試驗ノ結果入學スルコトヲ得サルトキ特別入學志望ノ旨ヲ併セテ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ既ニ受ケタル試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ許否ス

第二條 入學ヲ許可スヘキ人員ハ設備上ノ關係ニ依リ毎年之ヲ定ム
第二條 入學出願ノ手續試驗科目試驗施行ノ日時等ハ總テ官立高等學校高等科入學者選拔試驗ニ關スル規定ヲ準用ス
入學志願者名票ニハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介書ヲ添付スヘシ

第四條 所定ノ學科課程ヲ修了セル者ニハ左式ノ修了證明書ヲ授與ス

修了證明書

校印

氏

名

年月日生

右者特別入學生トシテ本校文理科ノ學科(學科ノ全部ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ修メタル學科目ヲ記ス)ヲ修了セシコトヲ證ス

年月日

山口高等學校長位勳氏

名 印

番 號

第五條 本校學則第五章(第二十二條ヲ除ク)及第六章ノ規定ハ之ヲ外國人特別入學生ニ適用ス

第六條 前條ノ外本校ノ學則及諸細則ハ總テ之ヲ外國人特別入學生ニ準用ス

第七條 本細則ハ之ヲ臺灣人若ハ朝鮮人ニ準用ス但シ其ノ入學志願者名票ニハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介書ヲ添付スヘシ

五 會議規程

- 第一條 本規程ニ於テ教官ト稱スルハ教授、助教授及講師ヲ謂フ
- 第二條 會議ヲ分チテ評議員會及教官會トス
- 第三條 評議員會ハ學校長ノ諮問ニ應シ校務ニ關スル重要ノ事項ヲ審議ス
- 第四條 評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス
評議員ハ教頭、課長、生徒監以外ノ教官ヨリ互選シタル者若干名ニ就キ學校長之ヲ命ス
教頭、課長、生徒監ハ當然評議員會ニ參與スヘキモノトス
必要ノ場合ニハ臨時他ノ教官ヲ評議員會ニ參與セシムルコトアルヘシ
- 第五條 教官ヨリ互選シタル評議員ノ任期ハ一學年間トス但シ再選スルコトヲ得
- 第六條 教官會ハ學校長ノ諮問ニ應シ學科課程試驗及成績考查其ノ

他學校長ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ審議ス
第七條 教官會ハ教官ヲ以テ之ヲ組織ス

六 圖書ニ關スル規程

- 第一條 本校所藏ノ圖書ハ圖書課員ノ外之ヲ出納スルコトヲ得ス
- 第二條 職員ハ教授上若ハ事務上必要ナル圖書ヲ借受ケ之ヲ教官室特別教室、事務室ニ備ヘ置キ又ハ參考用トシテ圖書ヲ借覽スルコトヲ得
- 第三條 職員ノ借覽シ得ヘキ圖書ノ冊數ハ隨時之ヲ定ム
- 第四條 職員圖書ヲ借受ケムトスルトキハ所定ノ借用證書ヲ圖書課ニ差出スヘシ
- 第五條 借受ケタル圖書ハ毎年七月一日迄ニ全部返納セシムルコトアルヘシ

第六條 圖書閱覽室ハ本校休業日ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク但シ臨時閉閉スルコトアルヘシ

第七條 圖書閱覽室閉閉ノ時限ハ之ヲ揭示ス

第八條 閱覽ノ爲借受ケ得ヘキ圖書ノ冊數ハ隨時之ヲ定ム

第九條 圖書ヲ閱覽セムトスル者ハ所定ノ閱覽證ヲ圖書課ヘ差出スヘシ

圖書ハ閱覽終レハ直チニ返納スヘシ

第十條 閱覽者ハ圖書ヲ閱覽室外ニ携出シ又ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第十一條 閱覽者ハ圖書ヲ鄭重ニ取扱フヘシ汚損若ハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償セシム

第十二條 閱覽者ハ閱覽室内ニ於テ喫煙談話音讀ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 閱覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ヲ委託セムトスル者ハ其ノ

圖書名、著譯編者名、裝釘別、冊數及見積價額ヲ具シ委託期限ヲ定メテ校長ノ承諾ヲ受クヘシ

第十四條 委託圖書ハ委託者ニ於テ之ヲ本校ニ送致スヘシ本校ハ之

ニ對シ委託書ヲ交付ス

第十五條 委託圖書ハ本校ノ圖書ト同一ニ取扱フ但シ委託者ノ希望

ニ依リ特別ノ取扱ヲ爲スコトアルヘシ

第十六條 委託圖書ハ不可抗力ニ因リ損害ヲ生スルコトアルモ本校ハ其ノ責ニ任セス

七 物品會計規程細則

第一條 本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並ニ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ尙本細則ニ依リ處理スヘキモノトス

第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品ノ二種トシ又備品ノ各部局共用

- ニ係ルモノヲ共用備品トシ職員各自ニ使用スルモノヲ専用備品ト云フ但シ備品消耗品ノ区分ハ學校長之ヲ定ム
- 第三條 物品ノ出納命令ハ學校長之ヲ發シ其出納ハ物品會計官吏之ヲ執行スルモノトス
- 第四條 前條物品ノ出納命令ハ物品請求用紙及物品返付用紙又ハ他ノ文書ヲ以テス但シ消耗品ノ在庫品ニアリテハ別ニ支給伺簿ニ依リ學校長ノ檢印ヲ受クヘキモノトス
- 第五條 物品ノ請求ヲ爲サントスルトキハ所定ノ物品請求用紙ニ其品目數量需用事由ヲ記入シ當該請求部局長ノ檢印ヲ受ケ會計係ニ差出スヘシ但シ圖書ニアリテハ圖書課ニ請求スルモノトス
- 機械標本等ノ購入及修理ニシテ特ニ注文先ヲ選擇スルノ必要アルトキハ當該請求部局長ニ於テ當業者ノ見積書ヲ徴シ之ヲ添付會計係ニ請求スルモノトス

- 第六條 會計係ニ於テハ前條物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ學校長ノ命令ヲ受ケ處理スヘキモノトス
- 第七條 圖書課ニ於テハ圖書ノ請求ヲ受ケタルトキハ之レヲ調査シ會計係ヲ經由シ學校長ノ命令ヲ受ケ處理スヘキモノトス
- 第八條 物品會計官吏物品ヲ支給スルトキハ備品ニアリテハ備品支給簿ニ消耗品ニアリテハ消耗品出納簿ノ各相當欄内ニ記入シ監守者物品取扱主任者又ハ受領者ニ捺印セシムルモノトス
- 第九條 文書發送ノ主務係ニ於テハ郵便切手類受拂簿ヲ設ケ其受拂ヲ詳記シ毎月支拂高等ヲ本簿ト共ニ翌月會計係ヲ經テ學校長ニ報告スルモノトス
- 第十條 物品監守者又ハ物品取扱主任者ハ物品ノ配付ヲ受ケタルトキハ備品ニアリテハ備品監守簿ニ消耗品ニアリテハ消耗品受拂簿ニ直ニ記帳スヘキモノトス

- 第十一條 各部局ニ物品監守者及物品取扱主任者ヲ置キ備品ノ監守
消耗品ノ取扱ヲ爲サシムルモノトス但シ各部局ノ狀況ニ依リ物品
監守者ト物品取扱主任者トヲ兼ネシムルコトアルヘシ
- 第十二條 専用備品ハ各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スルモノトス
- 第十三條 物品監守者又ハ物品取扱主任者交替シタルトキハ新舊任
者會合ノ上現品ト帳簿トヲ對照シ引繼ヲ爲スヘキモノトス但シ本
文引繼ヲ了シタルトキハ其旨ヲ會計係ニ報告スヘキモノトス
- 第十四條 物品監守者ハ使用物品ノ自然毀損シ修理スルモノアルト
キハ所定ノ物品請求用紙ニ夫々記入シ會計係ニ請求スルモノトス
- 第十五條 物品監守者及物品取扱主任者ハ物品ノ不用ニ屬シタルモ
ノアルトキハ所定ノ物品返付用紙ニ夫々記入シ當該部局長ノ檢印
ヲ受ケ會計係ニ返付シ監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ事由及年月日ヲ
記入シ會計係ノ受領證印ヲ受クルモノトス

- 第十六條 物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ保管ノ物品ヲ紛失又
ハ毀損シタルトキハ遲滞ナク其ノ顛末ヲ詳記シ會計係ヲ經テ學校
長ニ申報スヘキモノトス
- 第十七條 備品ニハ番號ヲ付スヘキモノトス其ノ番號ヲ付スルコト
能ハサルモノニアリテハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ
- 第十八條 物品監守者ハ使用物品番號標札ノ脱落汚損シタルモノア
ルトキハ會計係ニ付替ノ請求ヲ爲スヘキモノトス
- 第十九條 總テ物品ハ校外ヘ持出スコトヲ得サルモノトス但シ學校
長ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限りニ在ラス
- 第二十條 物品會計官吏ハ左ノ各項ニ依リ使用物品ヲ監督スヘキモ
ノトス
- 一 備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局監守簿ト對照シ尙現
品トヲ調査スルコト

二 消耗品ハ隨時物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ對照シ尙現品トヲ照査スルコト

第二十一條 物品會計官吏及物品監守者物品取扱主任者ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ設クルモノトス

一 備品出納簿(器具機械、標本)様式略以下同シ

一 備品出納簿(圖書)

一 消耗品出納簿

一 消耗品支給同簿

一 備品支給簿 本簿ハ部局毎ニ別冊トナシ類別毎ニ口座ヲ設ケ記帳スルモノトス

一 備品監守簿 同上

一 圖書分類目錄 本簿ハ分類別ニ口座ヲ設ケ記帳スルモノトス

一 消耗品受拂簿 本簿ハ品目毎ニ口座ヲ設ケ記帳スルモノトス

一 郵便切手類受拂簿

第二十二條 學校長ハ物品檢閲委員長一名委員若干名ヲ職員中ヨリ

任命シ毎年本校所有物品ノ檢査ヲナサシムルモノトス

第二十三條 檢閲ヲ分チテ定期及臨時ノ二トナシ定期檢閲期ハ毎年

度一回之レヲ行ヒ臨時檢閲ハ必要ト認メタル場合ニ臨時施行スル

モノトス

第二十四條 物品檢閲委員ノ檢査スヘキ事項左ノ如シ

一 物品保管ノ適否

二 備品使用ノ適否

三 消耗品消費ノ適否

四 物品缺損ノ有無

第二十五條 物品檢閲ノ際ハ在庫品ニ付テハ物品會計官吏使用中ノ

物品ニ付テハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ點檢ヲ受クヘキ

モノトス

第二十六條 物品檢閲委員長ハ其檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ狀況ヲ學校長ニ申報スヘキモノトス但シ意見アルトキハ附記スルコトヲ得

八 職員服務規程

第一章 職員ノ服務

第一條 職員ハ出勤時限前ニ登校スヘシ

第二條 事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖服務スヘシ

第三條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ出勤シ難キトキハ其ノ事由ヲ具シ出勤時限前ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺勤七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ届出テ爾後十四日毎ニ同様ノ手續ヲ爲スヘシ
第四條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スル者ハ其ノ旨前日中ニ届出ツヘシ

第五條 忌服ヲ受クルトキハ死者ノ氏名及死亡月日竝死者トノ續柄ヲ記シ届出ツヘシ

第六條 轉地療養、墓參、歸省等ノ爲旅行セムトスル者ハ其ノ事由旅行日數及旅行先ヲ記シ校長ノ許可ヲ受クヘシ但シ轉地療養ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

賜暇中若ハ休業中旅行セムトスル者ハ旅行日數及旅行先ヲ記シ出發前届出ツヘシ

第七條 出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發歸校ノ月日ヲ出張命令簿ニ記入ノ上捺印スヘシ
學術研究ノ爲出張ヲ命セラレタル場合ニ在リテハ研究ノ結果ヲ報告スヘシ

第八條 新任者ハ著任ノ日ヨリ七日以内ニ履歷書及住所届ヲ差出スヘシ

住所ヲ移轉シ又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ
第九條 官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項
ノ履歷上ニ關係アルモノハ其ノ都度届出ツヘシ

第十條 轉任、免官、休職等ノ場合ニ於テハ擔當事務及物品ノ引繼書ヲ
作り受渡者連署ヲ以テ届出ツヘシ

第十一條 校務ニ關スル事件及書類ハ校長ノ許可ヲ受クルニ非サレ
ハ之ヲ他人ニ開示シ若ハ閱覽セシムルコトヲ得ス

第十二條 非常變災アルトキハ速ニ登校シ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

第十三條 職員ハ校長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ報酬ノ有無ヲ問ハ
ス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

第二章 當直員ノ服務

第十四條 當直勤務ハ事務當直及學寮當直トス

第十五條 書記及雇員ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服スヘシ

生徒課勤務ノ職員ハ輪番ヲ以テ學寮當直ニ服スヘシ

第十六條 當直時間ハ左ノ如シ

一 平日ハ退出時限ヨリ翌日ノ登校時限マテ

二 休日ハ平日ノ登校時限マテ

退出登校ノ時限ハ執務時間終始ノ規定ニ從フ

第十七條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス

一 出張中出張ノ前日出張先ヨリ歸校ノ翌日

二 賜暇中

三 忌引中

四 疾病其ノ他ノ事故ニ因ル缺勤中

五 新任者著任ノ日ヨリ七日間

六 以上ノ外校長ニ於テ除直ノ必要アリト認メタルトキ

第十八條 事務當直ノ任務ハ概ネ左ノ如シ

- 一 御影竝勅語謄本奉安室及校舎各室ノ鎖鑰ヲ管守スルコト
 - 二 巡視小使等ヲ監督シ校舎内外ノ取締ヲ爲スコト
 - 三 往復物件ヲ處理スルコト
 - 四 火器其ノ他火災ノ虞アル器物ニ對シ特ニ注意スルコト
- 第十九條 學寮當直ハ學寮ノ管理及取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ處理スヘシ
- 第二十條 當直者ハ勤務中學校ヲ離ルルコトヲ得ス
- 第二十一條 當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助力ヲ求ムルコトヲ得
- 第二十二條 當直中出火近火ハ勿論風水震災盜難等非常ノ異變アルトキハ直ニ校長ニ急報スルト同時ニ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ
- 第二十三條 當直ノ服務ニ關スル細則ハ事務當直ニ在リテハ庶務課長學寮當直ニ在リテハ生徒課長之ヲ定ム

九 文書處理規程

- 第一條 本校ニ到達シタル文書ハ庶務係ニ於テ之ヲ接受シ左ノ各號ニ依リ取扱フヘシ
- 一 親展文書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スルコト
 - 二 前號以外ノ文書ハ總テ之ヲ開封シ文書整理簿(別紙様式)ニ登記シ記號、番號及月日ヲ記入シ直ニ主掌分課係ニ配付シテ其ノ證印ヲ徵スルコト
 - 三 二分課係以上ニ關聯スル文書ハ關係ノ重キニ從ヒ之ヲ配付スルコト
- 第二條 庶務係ニ於テ親展文書ノ回付ヲ受ケタルトキハ直ニ文書整理簿ニ登記シ記號、番號及月日ヲ記入シ前條ノ例ニ依リ配付ヲ爲スヘシ
- 第三條 左ノ文書ハ庶務係ヲ經由セス主掌分課係ニ於テ直ニ之ヲ接

受スルコトヲ得

一 入學志願者名票

二 生徒ノ宿所、入學、退學及缺席等ノ諸願届書類

三 其ノ他常例アル輕易ノ事件ニ關スル書類

第四條 配付ヲ受ケ又ハ接受シタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ

提出スヘシ但シ處分ヲ要セスト認ムルモノハ之ヲ供閱スヘシ

事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハサルトキハ校長ノ指

揮ヲ受クヘシ

第五條 決裁濟ノ文書ハ主掌分課係ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ

處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 發送ヲ要スル文書ハ主掌分課係ニ於テ左ノ各號ニ依リ庶務

係ニ、執務時間以外ニ發送ヲ要スル文書ハ當直ニ回付シテ其ノ證印

ヲ徴スヘシ

一 親展文書ハ文書整理簿ニ登記シ封緘ノ上封皮ニ記號番號ヲ記

載シ回付スルコト

二 前號以外ノ文書ハ文書整理簿ニ登記シ封皮及原議書ヲ添へ回

付スルコト

第七條 庶務係ニ於テ文書ヲ發送セムトスルトキ若ハ發送ヲ終リタ

ルトキハ左ノ各號ニ依リ取扱フヘシ

一 月日、受信者、發信者及郵便切手、葉書ノ枚數、料金高等ヲ郵便切手

類受拂簿ニ登記シ取扱者檢印スルコト

二 原議書ニ發送月日ヲ記入シ文書整理簿ニ登記シ之ヲ主掌分課

係ニ還付シテ其ノ證印ヲ徴スルコト

第八條 事件ノ完結シタル文書ハ主掌分課係ニ於テ文書整理簿ニ登

記シ文書編纂保存規程ノ定ムル所ニ從ヒ編纂シテ之ヲ保存スヘシ

大正
年

文書整理簿

(親展文書ニ在リテハ「親展」ノ二字ヲ冠シテ別冊トス)

課 (係)

文書處理規程

一一一

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

- 一 本簿ハ庶務係ト其ノ他ノ課係ト共用スルモノトス
- 二 記號「何」ハ課係ノ首字ヲ記入シ親展文書ニ在リテハ祕ノ字ヲ記入スルモノトス
- 三 一事件ニ關スル文書ニ附スヘキ記號、番號ハ收受ト發送トヲ問ハス總テ當初ノ記號番號ヲ用ウルモノトス
- 四 事件完結シタルトキハ其ノ月日ヲ記入スルモノトス

月日 完結				月日 完結				月日 完結			
受發	月日	番號	處理	受發	月日	番號	處理	受發	月日	番號	處理
何月何日	受發	第何號	主任(印)	何月何日	受發	第何號	主任(印)	何月何日	受發	第何號	主任(印)
何々ノ件			何々ノ件	何々ノ件			何々ノ件	何々ノ件			何々ノ件
何々ノ件			何々ノ件	何々ノ件			何々ノ件	何々ノ件			何々ノ件
發信者	受信者	何々ノ件	何々ノ件	發信者	受信者	何々ノ件	何々ノ件	發信者	受信者	何々ノ件	何々ノ件
月日	月日	何々ノ件	何々ノ件	月日	月日	何々ノ件	何々ノ件	月日	月日	何々ノ件	何々ノ件
月日	月日	何々ノ件	何々ノ件	月日	月日	何々ノ件	何々ノ件	月日	月日	何々ノ件	何々ノ件
月日	月日	何々ノ件	何々ノ件	月日	月日	何々ノ件	何々ノ件	月日	月日	何々ノ件	何々ノ件

十 文書編纂保存規程

- 第一條 本規程ニ於テ文書ト稱スルハ圖書以外ノ記録簿冊等一切ノ書類ヲ謂フ
- 第二條 文書編纂ノ種類及其ノ保存期間ハ別表ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ經伺ノ上之ヲ改廢シ若ハ別ニ種類ヲ設クルコトヲ得
- 第三條 文書ハ左ノ各號ニ依リ編纂スヘシ
 - 一 事件完結ノ順序ニ依リ曆年(會計ニ關スルモノハ會計年度)ヲ以テ分界トス但シ紙數ノ多寡ニ由リ一年分ヲ便宜分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得
 - 二 卷首ニ件名及索引丁數ヲ掲記シタル目錄ヲ附シ其ノ表紙ニ名稱、年若ハ年度保存期間及主掌課係名ヲ記載シ數冊ニ分綴セシモノハ數字ノ符號ヲ附シ尙檢索ヲ容易ナラシムル爲前部切斷面ニ名稱、年若ハ年度保存期間ヲ標記スルコト但シ保存期間三

- 年ニ屬スル文書ニハ目錄ヲ附セサルコトヲ得
- 三 圖表類ニシテ合綴シ難キモノハ袋又ハ筥ニ納メテ名稱ヲ標記シ其ノ所在ヲ目錄ニ附記スルコト
- 第四條 前條ニ依リ編纂シタル文書ハ文書臺帳(別紙様式)ニ登録シテ之ヲ一定ノ場所ニ藏置スヘシ
- 第五條 保存期間ハ文書完結ノ翌年ヨリ起算ス但シ會計年度ニ屬スルモノハ翌年度ヨリ起算スヘシ
- 第六條 保存期間ヲ了リ若ハ未タ了ラサルモ保存ノ必要ナシト認めタル文書ハ經伺ノ上之ヲ會計係ニ引繼クヘシ但シ一般ノ披閱ヲ避クヘキ文書ハ引繼前經伺ノ上相當ノ措置ヲ爲スヘシ
- 前項ノ引繼ヲ了リタルトキハ文書臺帳ニ廢棄ノ年月日ヲ記入スヘシ

主掌課(係)		編	纂	種	類	保存期間
教務	文書彙帳					永
	令達及通牒					永
	卒業證書彙帳					永
	試驗成績表					二十
	教科用圖書					十
	入學者選拔試驗及入學					五
	外國人、臺灣人、朝鮮人特別入學					五
	大學進學					五
	入學志願者名票					三
	入學志願者寫真					三
	入學者選拔試驗問題					三
	入學者選拔試驗答案					三
	入學者選拔試驗成績表					三

主掌課(係)		編	纂	種	類	保存期間	
課	入學志願者體格檢查表					三	
	入學志願者所見表					三	
	各教官擔任學科目及時間表					三	
	日課表					三	
	試驗問題					三	
	試驗答案					三	
	入學許可並入學試驗成績證明					三	
	學業成績證明					三	
	修學旅行及野外演習					三	
	教務日誌					三	
	教務雜件					三	
	生	文書彙帳					永
		令達及通牒					永
	生徒學籍簿					永	

庶		課	
庶		課	
例規類纂 至自第 第十編	例規類纂 至自第 十一編	學校衛生 運動及競技 在學證明 異裝許可簿 見學屆 缺席、缺課、遲到屆、 用診斷書 書留郵便物受渡簿 身分證明書交付伺簿 生徒ニ對スル旅客運賃割引證交付伺簿 生徒雜件	文書彙報 令達及通牒 學則及細則
永	永	三	永
久	久	年	久

徒	
在學證書 附 戶籍謄本 修了證明書 休學、轉學、退學及除名 生徒身體檢查統計表 生徒願屆 在學證明書交付名簿 生徒身體檢查票 生徒出席簿 處罰錄 處罰ニ關スル書類 徵集猶豫並入管延期ニ關スル諸證明 在寮生徒名簿 入寮及退寮 入寮及退寮通報簿 寮務日誌 通學生名簿	三 三 三 三 三 五 五 五 五 五 三 三 十 十 十
年	年

國語	文學士	滿井信太郎	千葉
地理、歴史	文學士	山口浩義	島根
圖畫	大田	豊	山口
歴史	評議員	匹田直	大分
植物、動物、自然科学	評議員	兒玉親輔	東京
數學	(在外研究中)	岩付寅之助	新潟
英語	文學士	原田純藏	熊本
修身、論理	生徒監	水野敏雄	東京
礦物、地質、自然科学	文學士	麻生英二郎	福岡
法制、經濟	文學士	山口哲太郎	山形
獨語	(在外研究中)	内山貞三郎	新潟
化學	文學士	野垣寛之	愛知
化學、自然科学	文學士	松井正夫	新潟

國語	文學士	佐藤榮吉	千葉
物理、力学	文學士	竹内伊一郎	愛知
獨語、哲學概説	文學士	石村忠次	富山
獨語	文學士	米澤直人	山口

配屬將校

步兵第四十二聯隊附陸軍歩兵少佐 野村定五郎 鹿兒島

助教

體操	坂田道夫	宮城
植物	木村幸佐	山口
體操	侯賀助一	山口
陸軍歩兵軍曹		

雇外國人教師

英語	ハツチエラー、オブ、アーツ(ケンブリッジ大學)ウヰリヤマ、アサ、リチャーツ	英國
獨語	ドクトルフィロソフィー(ライプツヒ大學)エルウイン、ヤーン	獨逸

講師(就職順)

陸軍歩兵大尉

山口縣立山口中學校教諭

理學士

山口縣師範學校教諭
兼山口縣師範學校訓導

教務囑託

山口縣師範學校教諭

山口縣師範學校教諭

書記

西谷勘市 島根

田中貞一郎 兵庫

嶺亮介 福岡

小林富藏 鳥取

末次哲朗 鳥取

早川要 長野

安田太四郎 山口

柳田善作 栃木

石川潤治 山口

岡田靜雄 山口

體操 物理 數學 圖畫

柔道 劍道

雇

林匡亮 山口

波多野信藏 山口

荒瀬孝吉 山口

大賀勇藏 山口

井筒岩熊 山口

小幡亦一 山口

吉山松雄 山口

中野文治 廣島

福富正雄 山口

藤井末熊 山口

醫學博士

林政次 東京

學校主 醫

學級主任

文科第一學年甲類
 文科第一學年乙類
 理科第一學年甲類
 理科第一學年乙類
 文科第二學年甲類
 文科第二學年乙類
 理科第二學年甲類
 理科第二學年乙類
 文科第三學年甲類
 文科第三學年乙類
 理科第三學年甲類

醫學士 大村 充 山口

教授 原田純藏
 教授 匹田直
 教授 佐藤榮吉
 教授 麻生英二郎
 教授 山口哲太郎
 教授 山口浩義
 教授 竹內伊一郎
 教授 野垣寬之
 教授 若木貞一
 教授 辻善定
 教授 田淵一郎

理科第三學年乙類

學科主任

修身、哲學概說、心理及論理、法制及經濟
 國語及漢文
 英語
 獨語
 歷史、地理
 數學
 物理、化學
 植物及動物、礦物及地質、自然科學
 圖畫
 體操

教授 兒玉親輔

教授 若木貞一
 教授 伊東邦彥
 教授 小島武雄
 教授 辻善定
 教授 匹田直
 教授 田淵一郎
 教授 松井正夫
 教授 兒玉親輔
 教授 大田豐
 助教授 坂田道夫

事務分課

教務課

課長

(兼)

教授 吉武真貫

書記 安田太四郎

書記 石川潤治

書記 井筒岩熊

書記 荒瀬孝吉

書記 大賀勇藏

書記 福富正雄

書記 小島武雄

書記 水野敏雄

書記 坂田道夫

化學教室勤務
物理教室勤務
植物、動物教室勤務

礦物、地質教室兼務

生徒課

課長

庶務課

課長

庶務係

教授 開發喜十郎

書記 安田太四郎

書記 井筒岩熊

書記 柳田善作

助教 侯賀助一

講師 西谷勘市

教務囑託 末次哲朗

教務囑託 早川要

雇 波多野信藏

雇 中野文治

○生徒

大正十五年五月三十一日調

一生徒氏名

第三學年

文科甲類(三十九人)

櫻井	齋藤	古賀	熊本	久坂	北川	嘉山	小澤	上村	氏名
五郎	英正	賀正	本三	坂一	川治	山隆	澤郎	忠治	
山口	東京	東京	和歌山	岡山	山口	靜岡	山口	山口	本籍
徳師	徳師	徳師	青島	京都	防府	開成	壺南	周陽	出身
山	山	山	日本	第一	府	成	第一	陽	卒業又
修	修	修	修	修	修	修	修	修	修了
佐波	祭原	雜賀	桑原	窪田	木戸	岸本	甲斐	岡田	氏名
宣平	光太郎	宗之	馨	種雄	義男	直行	貞信	友市	
山口	大阪	長崎	山口	山口	山口	福岡	大分	山口	本籍
鴻城	天王	五島	周陽	長府	山口	小倉	徳山	萩	出身
修	修	修	修	修	修	修	修	修	卒業又
									修了

生徒

一五一

今市粟	林山柳	溝前古	濱西長	津竹勝	木
井橋屋	本武武	川川川	川山秋	本谷	村
久善保	憲武武	勸俊	參忠	幾雄	在
男博理	平輔雄	造夫	次治	郎雄	登
東鳥山	科朝山	佐三佐	兵山山	廣山山	山
京取口	甲鮮口	重賀重	庫口口	島口口	口
成倉第	類	豐德防	富田第	山防鴻	山
城吉神	(三十七人)	橋山府	二神戶	口府城	口
卒卒修		卒卒修	卒卒修	卒卒修	卒
井伊飯	山山森	三井松	平蓮長	中田末	久
森藤田	本田尾	井井井	井井井	園中村	保
廉實一	外岩太	武正武	清四郎	昌二晃	周
勇實一	史郎男	雄平	吾二	二晃	夫
廣山山	愛山山	山山山	廣香山	鹿兒山	山
島口口	媛口口	口口口	島川口	島口口	口
福鴻防	大山山	山山山	大川周	川防德	西
山城府	洲口口	長府道	川陽邊	邊府山	條
卒卒卒	卒卒卒	卒卒卒	卒卒卒	卒卒修	卒

小太近	稻明	金吉山	山山法	藤原長	中鄭谷
野田江	岡石	川根岡	貴井田	井井井	谷谷
真雄伸	讓壽	俊東小	三三三	賢賢賢	泓泓
一郎夫	實壽	彥明次	郎一吉	治治治	燮燮
大香秋	廣愛	朝佐山	京京山	山山山	山
分川田	島媛	賀賀賀	都都都	口口口	神神
白高山	天王	立福山	立大第	立德山	奈奈
柁松口	寺修	命岡口	一連第	山口	川川
卒卒卒	卒	卒卒卒	修修修	卒卒卒	口口
河大緒	印天	吉山山	松藤福	林林林	中中
野坪方	野野	木本	村井島	島島島	島島
實一二	敏植	源左	雄英一	宗宗宗	正正
實二三	彦彦	衛門	樹樹樹	佐佐佐	夫夫
山福宮	朝廣	山兵山	山山山	山山山	山山
口岡崎	鮮島	口庫口	口口口	口口口	口口
岩筑宮	一京廣	青三小	京京錦	洲洲洲	山山
國上崎	高城島	島日本	城城城	本本本	口口
修卒卒	修卒卒	卒卒卒	修修修	修修修	口口

堀野正實	福田勝男	平原田三	繩田千三郎	中司敏夫	玉重忠吉	鈴木圭春	古賀春雄	木曾勝人	龜山昇二	河村祐義	緒方維弘	遠藤勇三	伊藤薰次郎	池田靖作	青木文作
山重口	山重口	山重口	山重口	福岡口	廣島分	大分島	福島口	山東口	東京分	廣島口	愛媛口	山重口	山重口	山重口	山重口
萩	橫須賀	防府	山口	山口	山口	中津	筑上	矢掛	岩國	赤坂	白杵	忠海	京城	德山	小田原
卒	卒	卒	卒	修	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
村田昇	福田一	平原正	林田清	中島達	巽島三	關口二	末益讓	國光猪勢	木島觀熊	河村俊一	柏村節陽	岡村武人	今屋英夫	一倉和誠	井倉昭男
茨城	山重	廣島	山重	島根	岡山	奈良	兵庫	山口	山口	山口	山口	山口	山口	滋賀	山重
茨城師範	岩國	山口	山重	第二神戶	津山	五條	第二神戶	鴻城	山口	萩	德山	山重	鴻城	勝所	山重
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	修	卒	卒	卒	卒	修

渡邊駿	吉田	森本	松原	星野	原野	林雅樹	永井	高城	杉江	佐世	桑原	蒲生	大村	大野	江正
理	科	乙	類	大連第一	萩附島	廣島高	山口	吳府	長府	岩國	廣島第一	豐野	北野	山口	山口
東山	高知	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
卒	修	修	修	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒
吉村	山田	森井	堀井	藤村	林健	長谷川	高橋	高井	佐藤	古賀	木村	河本	大町	岡村	岡村
勝治	良	亨	胤	次	薰	郎	吾	橘	郎	藏	一	郎	篤	二	二
東京	山口	山口	奈良	山口	鳥取	兵庫	東京	東京	山口	福岡	山口	山口	廣島	山口	山口
德山	山口	高松	五條	防府	同志社	天王寺	高千穗	京域	山口	福岡	長府	岩國	廣島第一	周陽	周陽
修	卒	修	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

片山一夫	遠藤靜雄	稻村忠雄	安藤國富	崔吉田	吉本三郎	山根吉男	山内忠吉	山村井滿太郎	松岡滿夫	古谷三喜男	弘中三喜男	花村仁八郎	野村和男	永見真人
山口	廣島	山口	大分	科乙	山	山	山	鹿兒島	大阪	山	山	山	福岡	山口
修	師附	廣島	山口	大分	高城第一	今宮	萩	廣島第一	京城中	豐中	興風	大邱	德山	嘉穂
卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

類 (四十四人)

栗川原	川口四郎	上山四郎	石川孝一	崔吉田	吉田亨	山田	山縣良雄	山南谷知孝	村田勝郎	松浦兼三郎	福家進	濱本九三	橋本成之	永美幸雄
東京	山口	山口	山口	朝鮮	廣島	山	山	山	山	山	山	山	山	山
山	山	山	山	濟	福山	萩	八尾	橫濱第二	防府	萩	大連第一	鴻城	明治學院	青島日本
修	卒	卒	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

德永良雄	田中正人	瀧本惠助	正司幸諒	金基青	河野春吉	大島政輔	小川忠夫	石尾英文	淺海諒介	吉見恒雄	山田光男	山岡幾雄	安井信雄
山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
下關	德山	對馬	三田	鴻城	字和島	萩	山口	島原	大邱	岩國	德山	大洲	三田
修	修	卒	卒	修	卒	修	修	卒	修	卒	卒	卒	卒

文科類 (四十三人)

中村章次	德田真秀	田中誠	高田千秋	合田重龜	木村義三	河村節三	小原公助	岩城次郎	姉川從義	吉見恒雄	山田光男	山岡幾雄	安井信雄
山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
防府	山	萩	德山	三豐	長崎	宇部	山口	第一神戶	長崎	龍山	修館	洲本	三田
卒	卒	卒	卒	卒	修	卒	修	修	卒	卒	修	卒	卒

德久一雄	田村雄	高津龜久太郎	竹田元彦	島田一男	栗山下勇次	木村元資	河邊芳太郎	河村元格	大塚丈夫	岡田文雄	石井達夫	阿部達夫	足立斌	青柳太郎	金虎羽理
山口	山口	山口	山口	福岡	和歌山	福井	山口	山口	長崎	山口	愛知	新潟	愛知	福岡	朝鮮
京	山	山	山	豐津	郡山	防府	萩	大村	下松工業	大邱	山	龍山	鞍手	濟	慶
卒	卒	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	修	修	卒	卒	(四十四人)
豐島政雄	田中兼武	高尾彦	谷野昇	鈴木清	重富東	熊谷良一	韓芝鎬	叶屋復雄	垣内龍三	小川正男	石川虎彦	有野康彦	近江靜雄	淺野英之助	林家齊
山口	山口	佐賀	山口	島根	山口	山口	朝鮮	山口	和歌山	山口	山口	京都	秋田	兵庫	臺灣
德	長	萩	德	米	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
山	府	山	子	子	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
卒	卒	卒	卒	修	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	修	卒	卒	修

吉田信照	森住利直	村岡元晴	宮前頌雄	松村實	平原六郎	原英夫	二階堂吾	津野幸一	田中男	田中堯平	瀧口三郎	篠永恭一	佐野守介	坂本計介	近藤正	河內山豐
福岡	福岡	山口	熊本	山口	福岡	福岡	秋田	大分	山口	山口	山口	愛媛	徳島	福岡	長崎	山口
嘉	大連第一	山	横濱第一	高水	豐津	修猷館	盛岡	濟	中山	長府	萩	西條	山	宇部	龍谷	山口
卒	修	卒	卒	卒	卒	修	修	入學資格 試驗合格	卒	卒	卒	修	卒	修	修	卒
李英淳	山本繁	村上善一	三吉恒	光田孝	深瀬重造	春山國生	新田義夫	藤堂恭一	谷中光	田中達男	立武雄	住友尚平	椎木晴行	櫻木昇	齋藤尊定	古賀兵造
朝鮮	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
瀨	瀨	今	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
城	城	治	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
修	修	卒	修	卒	卒	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	修

生徒

小原美紀	井上準郎	阿部久雄	梁川淳	吉川善泰	山口義勝	村田健登	正本平藏	藤本孝憲	藤井治人	原村茂良	中村徹	爲近武夫	田邊芳郎
山廣口	廣島	福岡	朝鮮	東京	山口	山口	兵庫	山口	山口	山口	山口	山口	廣島
萩	三萩	嘉穂	高等普通	京城第一	防府	青島日本	長府	洲本	宇部	宇部	鴻城	山口	横須賀
修	卒	卒	卒	修	卒	修	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒

文科類 (四十二人)

大庭千尋	市原茂樹	有美邊	和田五郎	吉田讓亮	山崎榮輔	守田榮	宮城容中	藤本光盛	藤田久實	廣瀬英實	夏目亨三	長坂亨三	宅野閣二
山口	山口	島根	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口	山口
岩國	萩	山口萩	山口萩	周陽	鹿島	高水	豐津	防府	第二神戶	京北	龍山	興風	山口
修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	修	修	卒	卒

一六一

生徒

澄川準	四熊克巳	佐々木章	神波道之	影山民治	上田光雄	岩本茂樹	伊藤吾三	淺海一郎	李周熙	椋梨清裕	三浦裕郎	花輪五郎	西村文男	中安信九	戸山信芳
島根	山口	福岡	鳥取	山口	山口	山口	山口	山口	朝鮮	山口	山口	愛知	山口	山口	京都
伊丹	徳山	東筑	倉吉	長府	萩	岩國	宇部	山口	高等普通	京城第一	濟々	山口	愛知第一	山口	徳山
卒	修	卒	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒	卒

理科類 (四十人)

竹川洋	末兼敏	佐伯正七	小島貞正	上月藏	上田義人	伊吹令二	井上隆美	阿部猛	黃翰榕	矢岡次雄	宮本左門	細井千代馬	花園實昌	中本正	中原榮三
山口	山口	山口	茨城	兵庫	山口	岡山	山口	廣島	朝鮮	福岡	廣島	京都	東京	山口	島根
北條	徳山	萩	佐原	柏原	長府	高梁	防府	廣島第一	高等普通	京城第一	筑上	小倉	京都第二	成傍	濱田
卒	卒	卒	卒	卒	修	修	修	卒	修	卒	卒	卒	卒	卒	卒

一六〇

生徒

松井榮一	檜垣三郎	平尾敬一	新田彰二	長井一繁	中村壽雄	中村壽郎	富永太三郎	瀧口重義	瀧口重義	近藤富士雄	久芳昌	岸本孝二	與村光雄	石丸廣美	金相冰文
山口修	山口修	津重	三關	山下	山下	大連第一	對島	三島	山口	見付	長府	山口	大阪生野	三井工業	福岡若松
山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修
松屋友次	藤本勇丸	東本常夫	野村篤彦	難波勝一郎	中波理輝	中島哲次郎	內藤文質	竹內源之進	反田明肆	佐野廣	栗原寬	久具勇雄	與村孝輔	牛尾義輔	李允載
山口修	山口修	和歌山	島根	島根	島根	島根	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京
山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修

一六三

生徒

吉村一夫	山吉太郎	三宅富藏	三宅靜也	松井憲太郎	平河一夫	中村宏策	中村隆彦	土屋俊弘	谷口義一	竹原清一	末益朗	島田三朗	澤田三朗	神崎好道	加藤弘誠	大久保忠誠
兵庫伊丹	天王寺商榮	廣田	長府	長府	山口下關	大阪北野	姫路	第一神戸	宮津	天王寺	山口	防府	防府	筑上	山口	山口
山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修
渡邊富士男	矢野健治	宮柳一男	三崎正男	丸山政義	增野敬治	中川光	中村全輔	豐田茂	茶谷武政	高木政一	竹田政一	城市安茂	重安茂	佐田了	久保男	片山勤
鳥取	山口	山口	廣島	兵庫	山口	山口	福岡	山口	山口	島根	島根	島根	山口	山口	山口	山口
山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修	山口修

一六二

生徒本籍別人員表

岩手	秋田	福島	石川	鳥取	島根	岡山	廣島	山口	和歌山	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
1	2	1	1	5	8	1	3	10	3	3	5	7	1	5
1	1	3	1	6	4	3	7	4	4	1	2	2	1	3
1	3	4	2	11	2	4	0	4	7	3	7	9	1	8

生徒本籍別人員表

大阪	神奈川	兵庫	長崎	新潟	千葉	茨城	奈良	三重	愛知	静岡	山梨	滋賀	岐阜	長野
6	2	9	7	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1
1	1	1	3	1	1	3	3	3	5	3	3	1	1	1
6	3	2	10	1	1	3	4	2	5	5	2	2	1	2

入學者學歷別人員表

大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿兒島	朝鮮	臺灣	總計
四	三	二	二	三	一	一	二四五
三	五	二	一	一	八	一	二四七
七	八	四	三	四	二	二	四九二

四入學者學歷別人員表

種別	大正十五年		大正十四年		大正十三年		大正十二年		大正十一年		大正十年		大正九年		大正八年		計
	文科	理科	文科	理科	文科	理科	文科	理科	文科	理科	文科	理科	文科	理科	文科	理科	
中學卒業及同等程度	五八	四九	四八	四九	四九	五〇	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四二二
中學卒業及同等程度	二一	二九	二六	二六	一六	二七	二二	二七	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	一九一
中學四年度修了及同等程度	五一	五七	五四	五四	五七	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四一六
合計	四二	四九	四六	四六	二八	五五	四九	五八	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	一八〇

(大正十五年五月三十一日調)

五生徒年齡表

合計	中學卒業及同等程度		中學四年度修了及同等程度	
	一〇九	一〇六	四二	四九
一〇二	一〇六	四六	二八	
九四	九五	五五	四九	
一〇〇	一一六	四九	五八	
一一六	四四	四四	四四	
八二八	三七一			

(大正十五年五月三十一日調)

六在學中死亡者表

種別	最高年		平均年		最低年	
	文科	理科	文科	理科	文科	理科
第一學年	二二年一〇月	二三年〇九月	一六年〇三月	一五年〇三月	一八年〇四月	一八年〇二月
第二學年	二五、一〇	二五、〇〇	一七、〇四	一六、〇八	一九、〇七	一九、一〇
第三學年	二八、一一	二六、一〇	一七、一一	一八、〇三	二〇、〇〇	二〇、一一

(大正十五年五月三十一日調)

生徒年齡表
在學中死亡者表

入學年月	死亡年月日	科學年類	氏名	本籍
大正八年九月	大正九年一月二十九日	文一甲	石村主計	山口
大正八年九月	大正九年八月二十日	文二乙	藤井裕人	山口
大正八年九月	大正十年五月五日	文三乙	藤井素行	山口

在學中死亡者表

大正九年九月	大正十年四月	大正十年四月	大正十年四月	大正十一年四月	大正十一年四月	大正十一年九月	大正十一年十二月
三月三日	九月六日	九月九日	八月九日	十二月十五日	十月一日	一月一日	十月五日
理三乙	理二甲	文二乙	理三甲	文三乙	文一甲	理一甲	理二乙
松田	西田	平田	村田	新井	倉山	渡邊	原田
到	勝	強	覺	保	繁	重	謙
大阪	山口	山口	山口	山口	群馬	高知	東京

○卒業者

一卒業者氏名

第一回

大正十一年三月八日卒業(百二十九人)

文科 甲類

(三十五人)

在東文×深井信男	東法	長瀬英一	東法	大塚寛一
東法 萩原正雄	東法	出口五郎	東法	福田耕一
東法 山田庄助	東法	吉田祥彦	東法	河井明
東法 溝部丑雄	東法	野美山巖	東法	松田治彦
東法 田中慎	東法	柴田春美	東法	松崎隆一
東法 中 潔	東法	堀 則政	東法	内田三郎
京法 澁江震策	京法	藤本傳治	東法	勝谷傳人
			東法	山口

成 氏名ノ上ノ東法、東醫、東工、東文、東理、東農、東經、
東京帝國大學(法)(醫)(工)(文)(理)(農)(經濟)學部卒業、
京法、京醫、京工、京文、京理、京農、京經、京都帝國大
學(法)(醫)(工)(文)(理)(經濟)(農)學部卒業、東北理、東
北醫、東北工、東北法文、東北帝國大學(醫)(工)(法文)
學部卒業、九醫、九工、九農、九法文、九州帝國大學(醫)
(工)(農)(法文)學部卒業、新醫、新潟醫科大學卒業、岡醫、
岡山醫科大學卒業、千醫、千葉醫科大學卒業、金澤
醫科大學卒業、長崎醫科大學卒業、略稱、其在ノ
字ヲ冠セルハ大學學部在學略稱×死亡ノ略稱

東經	水原克巳	香川	在東文	蓮元啓文	滋賀	東文	村田穀美	山口
東法	天野重雄	千葉	京法	井關安治	兵庫	京經	吉岡新太郎	廣島
東法	日野幹三	廣島	東經	永松靜修	福岡	京經	土光義三郎	岡山
京法	河內山加祿	山口	東經	大部富士男	兵庫	東法	河島誠	兵庫
東法	早川次郎	兵庫	東經	田中益彦	山口	東法	河島誠	兵庫
東經	重廣	巖山	東法	岩田孝	岡山	東法	内田護文	山口
東法	佐田久太郎	山口	東經	今村五郎	山口	京經	藤井米三	山口
京文	西澤靜雄	兵庫	東法	赤間文三	福岡	東法	淺海寅雄	山口
東法	圓藤正秀	徳島	東法	岡本謙三郎	岡山	東文	野上巖	山口
東經	宇山兵士	山口	在京文	篠田一人	山口	東法	瀧口吉繼	山口
京經	雨森清修	島根	東經	青木卓	山口	京經	瀧口吉繼	山口
京法	渡邊浩	岡山	京法	横打俊太	神奈川	東法	植村清二	大阪
東法	岡部義亮	山口	東法	隅田保次	島根	京法	河村一郎	山口
東法	相良自助	廣島	東法	賀茂眞文	山口	京法	大西貞一郎	山口
京法	島本與喜	高知	京法	黒田眞一	京都	東經	新谷梁一	山口
京法	尾上右衛門	奈良	東法	稻山絢太郎	東京	東經	市川清	東京

京法	渡邊潔	岡山	京法	荒木重太郎	兵庫	東北工	富次亮	山口
東工	豊島嘉造	山口	京經	兒玉協	山口	在京工	安本健助	山口
九工	白水半次郎	福岡	在東文	中村秀雄	山口	東文	田中政太	山口
九工	中原百合雄	山口	九工	濱地辰助	福岡	東農	武内邦次郎	廣島
九工	淺海改	山口	東工	村田稔	山口	在京理	目加田光	岡山
東理	金子四郎	山口	在京工	井尻民男	山口	九工	中原忠次	岡山
東理	笠井康一郎	山口	在京工	宮田秀介	山口	京工	枝村靖	山口
在東理	奈倉實郎	静岡	在京工	石田寛	山口	京工	山崎改	山口
京法	野澤馬三	山口	在京理	田中穂積	山口	京工	石飛範衛	山口
九醫	村田了介	山口	京法	土岐登	大阪	京工	松本金吾	廣島
京法	片山廣式	山口	在九醫	松岡琢郎	山口	東農	鈴木謙五郎	埼玉
九工	玉井周一	山口	九工	藤井忠二	岡山	京醫	田伏改	和歌山
九醫	小林照明	佐賀	東醫	鈴木康	静岡	東醫	增野旭	島根
京醫	篠部信一	山口	京醫	岡島晋一	山口	京醫	柳武夫	山口
九醫	松村達夫	山口	東醫	岡島晋一	山口	京醫	柳武夫	山口
東理	鍵谷正男	山口	京醫	岡島晋一	山口	京醫	柳武夫	山口

東醫	犬尾貞治	長崎	京工	青木保雄	東京	在京工	坪井好人	山口
京醫	安藤省三	大阪	在京醫	向井利一	廣島	東工	平野泰一	岐阜
九醫	山縣登	山口	在京理	梅田武彦	山口	京醫	尾上圭二	兵庫
東農	片岡慶二	山口	在東農	香川勳	廣島	九醫	岡田稔	廣島
九醫	町野頌夫	山口	在京醫	門田正男	山口	京醫	原田良雄	山口
京醫	前川喬彦	大阪	東農	福地清	福岡	九工	牧	大分
在京醫	服部貞之助	京都						

第二回

大正十二年三月七日卒業(百二十六人)

文科甲類

(三十六人)

京法	時森進	山口	東法	青木延一	山口	在東法	阿部英三	大分
東法	玉野信一	大阪	在岡醫	大田原一祥	岡山	東法	松尾一夫	山口
京文	矢川徳光	長崎	京法	奥田知英	愛知	東法	三輪鷹一	山口
京法	濱頭仁三郎	京都	京法	松本孝義	和歌山	東法	吉村正信	山口
東經	糸井衛三	京都	在東文	中村暎三郎	高知	在京法	藤川慎一	山口
在京法	田中伊之介	山口	東文	井原健一	山口	在京經	上田幸登	山口
東法	大塚冠太郎	大阪	京法	松井熊若	山口	京法	原田知介	山口

京經	前田純一	大阪	東法	松野貞夫	山口	在岡醫	横山秀三	島根
在京文	山中貞義	大阪	京文	川越正雄	大阪	在東文	丸井貞男	大阪
京法	白根運夫	廣島	京經	的場廣吉	和歌山	東經	溝部五郎	山口
京法	長岡義雄	山口	京法	藤田平一郎	大阪	在京法	松田慶嗣	兵庫
京法	森茂雄	廣島	河野彌太郎		山口	京法	若林克巳	千葉
文科乙類 (三十一人)								
東法	重宗儉	山口	東法	野町礎	高知	在京法	藤井博一	山口
東法	入江爲芳	福岡	東法	木ノ本四朗	山口	東法	小林英十郎	山口
東文	米澤直人	山口	在東法	北川茂	山口	東法	石田俊雄	山口
東經	原川義雄	山口	京經	阪井清	大阪	在東法	美間正紀	山口
東文	森崎末吉	福井	東法	前田秀二	山口	東文	鈴木幹郎	青森
在東文	杉本 嗣	兵庫	東文	片田嗣信	大分	在京法	石丸武雄	山口
京法	金丸 貞	福岡	東經	長田忠一	山口	在京法	鳥谷定吉	島根
東經	石村英雄	山口	京法	中川直一	東京	東經	坊垣忠吉	兵庫
東經	田村純一	廣島	東文	檜垣良一	山口	在東法	芥川道夫	愛媛
東經	城戸久	福岡	在東文	池田貞一	山口	在東文	角英祐	山口
在東經	徳地屋四郎	山口						

在京工	協永一雄	山口	京理	田中憲三	大阪	東工	安成貞一	熊本
京經	津田三郎	京都	東工	二宮達吉	大阪	東工	出田節雄	大分
東工	町田保	山口	在九工	寺西治夫	大阪	京工	市川弘長	廣島
東工	三井經光	山口	東工	茂森	廣島	京理	江田周三	山口
在京工	內田武德	山口	九工	藤本保	山口	九工	原田虎七	山口
在京文	山根重顯	山口	東醫	田中敏雄	岐阜	在京理	山中巖	山口
在京北	西内設	高知	在九工	山賀孝造	山口	在京理	木村作治郎	大阪
九工	筋師正	和歌山	在東醫	市川登	山口	東工	小澤恒三	山口
東農	兩見正雄	島根	在京理	坪井勇	島根	在京理	森重大作	山口
東農	赤司禮三	福岡	在京理	河村壽	山口	在京理	勝呂學	山口
東工	吉村徹	山口	在京理	木田祐次	大阪	在京理	池田二郎	兵庫
在東農	石川春吉	宮崎	在京理	岡部三郎	兵庫	在京理	勝呂學	山口
在京醫	窪田愛朋	山口	在岡醫	宮田貞二	山口	東工	山本晴次	兵庫
東理	大谷壽雄	山口	在九醫	森永五郎	大分	在京醫	和田卓之	大阪
在京醫	松田昌逸	鳥取	在千醫	峰永五郎	山口	在京醫	龜尾丹一	福岡

理科甲類 (三十五人)

理科乙類 (二十四人)

在京醫	宮原通顯	山口	在九醫	平田胤春	岡山	在京醫	佐藤全美	京都
在京醫	河村正陽	山口	在九醫	三戶立男	山口	在京醫	木庭密樹	福岡
東農	神力喜幸	山口	在長醫	牟田久三	長崎	在京醫	大嶽六郎	靜岡
在東農	松崎寛爾	山口	東農	矢島良雄	山口	在京醫	大嶽六郎	靜岡
在九醫	田村神市	山口	在九醫	藤井誠	山口	在京醫	矢島良雄	山口

第三回

大正十三年三月七日卒業(百三十四人)

文科甲類 (四十八人)

在京文	村重正夫	山口	在京文	柴田美稻	山口	在京經	生田益太郎	徳島
在京經	山手松柏	福岡	在東法	攝待博	岩手	在京法	水鳥信人	兵庫
在京經	難波健亮	山口	在東法	河本喜與之	山口	在京法	岩田健次郎	東京
在東法	松岡武雄	山口	在東法	好川増輔	山口	在京經	坪倉二郎	鳥根
在東法	澤村敏衛	廣島	在東法	服部連太郎	奈良	在京經	木村眞次郎	廣島
在京經	渡邊義三	山口	在東法	森島恒雄	福岡	在京文	關衡平	千葉
在京經	福田省三	山口	在京文	藤田武雄	山口	在京法	佐甲寅吉	山口
在京經	川澄正吉	茨城	在京法	森本義雄	高知	在京法	得能賀衛	廣島
在東法	松田正雄	山口	在京經	田川俊夫	長崎	在東法	濱村直一	徳島

在京法	栗山松一	兵庫	在東法	大木清彦	山口	在京經	久次米定治	大阪
在京經	植田實三	三重	在京法	三原種雄	岐阜	在京法	宇野秀雄	大阪
在京經	後藤元昭	廣島	在京法	鶴田穆佐	賀	在京法	木村義雄	廣島
在京經	齋藤四郎	東京	在東法	有久清安	山口	在東文	金昌雲	朝鮮
在東經	泉恭次	山口						
文科乙類 (三十人)								
在東法	西川功愛	媛	在京經	安部光雄	山口	在東法	原田傳	山口
在東法	渡邊捨雄	廣島	在東法	木村岩藏	廣島	在東法	小林一正	廣島
在東法	岡本重武	島根	在京文	鹽谷鴻二	山口	在東文	中野皎	熊本
在京文	井上五七	山口	在京法	篠村順二	廣島	在京法	高原資朗	岡山
在東文	形田藤太	福岡	在京法	古賀忠雄	長崎	在東法	平岡通俊	東京
在東文	鎌田卯一	山口	在京經	山下寅式	山口	在東法	藤野耕作	山口
在東經	長野象一	山口	在東文	丹羽昇	京都	在京經	伊藤宣	山口
在東法	渡邊保	山口	在京法	奧永不可止	大分	在京法	有馬知機	鹿兒島
在東經	埴見正一郎	山口	在京法	都野道郎	山口	在京法	柳井東水	山口
在京經	久米田康兵衛	山口	在京法	中島清	兵庫	在東法	藤井和夫	山口
理科甲類 (三十四人)								

在東工	戶澤正一	茨城	在九工	山本英道	滋賀	在東農	河相英逸	廣島
在京醫	松岡秀夫	山口	在京經	杉山二郎	山口	在東工	原田秀夫	山口
在京經	植木高登	山口	在東工	藤村六雄	山口	在京經	武安千春	山口
在東工	須内慎六	山口	在九醫	兒玉來三	廣島	在京工	小寺昇	兵庫
在東工	林真治	山口	在東工	小田川利喜	廣島	在東工	工藤憲資	山口
在東北	宮本忠孝	山口	在東北	松岡茂	山口	在東工	桐澤義人	山口
在東工	三卷一郎	山口	在東文	湖安	山口	在京經	中村音治	山口
在京工	山本悦夫	山口	在京理	伊藤善作	山口	在九工	上升主計	山口
在京北	小林太郎	山口	在京農	澤村東平	廣島	在岡醫	立野清一	山口
在京經	田村力	山口	在京農	山根純祐	山口	在東農	遠藤傳	山口
在京經	長尾祐一	山口	在京農	伊吹正紀	山口	在東理	岡徹	山口
在九農	綿谷誠一	山口						
理科乙類 (三十人)								
在九工	守田正山	山口	在京醫	高橋卓馬	廣島	在京醫	堀重雄	東京
在東工	根本雄一郎	山口	在東醫	藤井清二郎	廣島	在京醫	椋田勤	廣島
在京醫	平山浩長	山口	在東理	元村勳	鹿兒島	在岡醫	幸月富士昌	山口
在京醫	田村明雄	宮崎	在九醫	重村燕	山口	在九工	柏村寛	山口

在九醫	永野敏孝	千葉	在九醫	加藤聖	廣島	在九醫	廣藤倫一	廣島
在九農	岩尾清兵衛	福岡	在九工	渡邊幸三郎	山口	在京醫	竹廣勇藏	兵庫
在京文	井上一郎	京都	在九醫	神谷益二	山口	在京醫	大田豐	山口
在京醫	高木秀夫	長野	在東北	桑原虎助	山口	在京醫	岡崎行雄	廣島
在岡醫	末岡悟	山口	在九醫	伊藤巖	岐阜	在京醫	正木克巳	兵庫
在京醫	淺井東一	滋賀	在長醫	青木猷房	福岡	在長醫	上野信一	兵庫

第四回

大正十四年三月七日卒業(百二十人)

文科甲類

(三十七人)

在東法	時政彌太郎	山口	在東法	藤井勝三	山口	在東文	中原弘元	佐賀
在東經	櫻井陽一	山口	在東法	矢内駿	宮城	在京經	延兼數之助	山口
在東文	岡崎虎雄	山口	在東經	楊井克巳	山口	在京法	高橋文明	大阪
在京經	妻木正次	山口	在京法	藤本彦太郎	山口	在東法	山名酒嘉雄	廣島
在東文	白根孝之	廣島	在東法	古川重雄	栃木	在京法	田中有年	山口
在東經	中村正祐	山口	在東文	辛島驍	福岡	在東經	横田道三	廣島
在東文	七里公章	長崎	在東經	松永改	山口	在東法	間生基	岡山
在九法	厚東誠七郎	山口	在九法	鄭坤秀	朝鮮	在九法	木下琢郎	山口

在東法	鄭燦德	朝鮮	在京法	中村元雄	兵庫	在京法	白銀禮治	山口
在京法	永井於菟雄	愛媛	在東經	永山稻太郎	岡山	在東經	三木文雄	神奈川
在東法	萩原正雄	兵庫	在東文	朴永培	朝鮮	在京經	小鷹狩幸治	廣島
在京法	中塚常三郎	兵庫	在九法	柴田敏夫	山口	在東法	佐藤進	廣島

文科乙類

(二十五人)

在東文	大石秀典	山口	在東法	大和末松	山口	在京法	池田修一	山口
在東法	小川誠六郎	新潟	在京文	神宮順	群馬	在京法	大上良作	富山
在東法	三井清一	廣島	在京經	大橋弘一	静岡	在東法	姫野勝武	大分
在京法	石津太郎	山口	在京法	小早川欣吾	滋賀	在岡醫	武信芳郎	東京
在京文	樹谷實	山口	在京經	村岡達郎	山口	在京法	久保強平	山口
在京法	福永義彌	山口	在京經	西村和雄	京都	在京法	谷岡健二	高知
在京法	三坂泰夫	山口	在京法	山田紋平	山口	在東文	高橋將武	山口
在京法	大谷仲次郎	滋賀	在京法	棟近勇	山口	在京法	門脇善太郎	兵庫
在九法	大木星	臺灣	在東工	瀨川壽	山口	在九工	栗村龍象	鳥取
在東工	大隅芳雄	廣島	在東工	瀨川壽	山口	在九工	栗村龍象	鳥取

在東理	御江久夫	山口	在東醫	山本菊三郎	廣島	在九工	篠田一郎	山口
在東工	上山巳代治	兵庫	在東醫	竹腰重九	大分	在九工	清水善雄	廣島
在九工	赤野正信	山口	在東農	星野隆一	廣島	在九工	山口源一	山口
在九工	大田登	廣島	在京工	平瀬國雄	山口	在九工	武居年夫	山口
在京理	中谷晴夫	山口	在岡醫	北義保	兵庫	在東農	後藤與治	山口
在九工	伊藤文一	山口	在長醫	西田文夫	鹿兒島	在東工	松尾弘	福岡
在東北	林勝	山口	在東農	川中喜造	兵庫	在東工	青木尙	山口
在京工	三宅敏道	長崎	在京理	芥川賴三郎	愛媛	在京工	金相悅	朝鮮
在九工	高田學而	廣島	在京醫	杉野太朗	岐阜	在京醫	守本仁生	兵庫
在東醫	飯下優	岐阜	在京醫	宗内敏男	山口	在九醫	木村成美	山口
在九醫	服部達太郎	山口	在長醫	吉村敬治	奈良	在長醫	柏村淡水	福岡
在東醫	柏木直甫	山口	在京醫	坪田國男	福井	在東醫	大村泰男	山口
在東理	小倉豐二郎	東京	在京工	渡里清	島根	在京醫	有田忠	廣島
在京醫	植田三郎	大阪	在九醫	近藤篤三	香川	在京醫	時光要	岡山
在東農	北村純二	山口	在京文	中原稔生	山口	在京醫	岡村正介	山口
在京醫	宗寬治	京都	在京醫	杉野太朗	岐阜	在京醫	守本仁生	兵庫

理科乙類

(三十人)

第五回

大正十五年三月八日卒業(百四十四人)

文科甲類

(四十人)

在東文	佐内巖	山口	在東法	小川信雄	山口	在九法	伊藤貞幸	山口
在京經	井上軍治	山口	在東文	加島勝秀	山口	在京文	近間利輔	山口
在京經	宮井鍊	和歌山	在東經	津枝惇	山口	在東法	末武修二	山口
在京法	有本健次	兵庫	在京文	李萬英	朝鮮	在東文	三坂圭治	山口
在京法	大竹正則	山梨	在京法	村本一男	大分	在東法	大久保武生	長崎
在京經	田村豐	山口	在京法	姜炳钰	朝鮮	在九法	渡邊千任	福岡
在京文	安原基輔	山口	在京法	鎌田保	鹿兒島	在京經	渡邊昌平	岡山
在九法文	筒井英昌	大分	在東法	關口俊太	秋田	在京法	今川義六	山口
在九法文	國弘登	山口	在京經	高橋真治	山口	在京法	後藤三郎	岐阜
在東經	高畑双吉	北海道	在京法	石田常勝	兵庫	在京法	澤田敬允	廣島
在京文	山崎文雄	山口	在京法	高畑弘	福岡	在京法	酒向誠一	山口

在京法	赤木諫夫	宮崎	在京法	津司三郎	京都	在京經	島田市二	廣島
在京法	大塚	治兵庫	在京法	長谷川勝之	廣島	在京法	濱田直敬	富山
在京經	菅	實福岡						
文科乙類 (三十八人)								
在東法	長谷川	清山口	在東文	中江	徳京都	在東法	八龜征平	神奈川
在東法	石田陽太郎	兵庫	在京經	小幡	山口	在東法	木坂恒一	廣島
在九法	藤田一郎	山口	在東法	西村	大阪	在京法	秋本誠夫	山口
在京法	久保與四男	山口	在京文	小川五郎	山口	在京法	横山平四郎	島根
在九法文	七條綱太郎	高知	在東文	大森伸彦	福岡	在京經	細田達夫	山口
在九法文	中村	山口	在京經	小橋秀一	岡山	在京法	谷弓雄	徳島
在東文	李孝	朝鮮	在京文	和田良夫	島根	在京法	白石鳳介	山口
在京經	今津正二	徳島	在京法	伊藤正勝	山口	在東文	河岡新兵衛	山口
在東經	高島達夫	長崎	在京法	坂口靜雄	東京	在京法	益田俊吉	廣島
在東經	野津浩爾	廣島	在東文	佐々木三五	徳島	在東文	松尾要	廣島
在京法	野上幸治	山口	在東文	曹喜淳	朝鮮	在九法	黃庭富	臺灣
在京文	田中良男	山口	在京經	中岡利治	京都	在京經	高本泰夫	山口
在東農	大上新治郎	徳島						

理科甲類

(三十三人)

在東工	頓野孝夫	山口	在東工	齊藤亥三雄	徳島	在東農	須内鼎五	山口
在東工	弘中龍男	山口	在東工	中山勝之助	山口	在京醫	岩城達	山口
在東工	原田太郎	山口	在東農	姜琮武	朝鮮	在東農	中島康郎	岐阜
在九醫	櫻井幸夫	山口	在東工	堀完一	山口	在東工	韓澤柱	朝鮮
在東農	村岡清治	山口	在東工	船岡親雄	廣島	在九醫	工藤明吉	大分
在千醫	原正博	静岡	在長醫	品川馨	山口			
在東北	平岡精祐	山口	在京醫	深澤高正	兵庫			
在東工	都逢涉	朝鮮	在京醫	山本憲治	兵庫			
在東工	笹川三雄	山口	在東理	渡邊克彦	山口			
在京農	香内良雄	廣島	在岡醫	宗盛武雄	廣島			
在東工	神保右一	山口	在東農	富田資	愛媛			
理科乙類 (三十三人)								
在東醫	尾中毅	山口	在東醫	有田勝正	山口	在九醫	李呈奇	臺灣
在岡醫	吉村宗次	大阪	在東醫	武安季春	山口	在九醫	好川一彦	山口
在京醫	水谷一輝	香川	在京醫	松田一男	廣島	在金醫	米坂彌	和歌山
在京醫	田北幸平	大分	在九醫	天兒民和	兵庫	在九醫	田北周平	山口